名古屋学院大学大学院

2024年度　入学試験要項

通学制

経済経営研究科

経済学専攻	—修士課程—
経営政策専攻	—博士前期課程—
	—博士後期課程—

外国語学研究科

英語学専攻	—修士課程—
国際文化協力専攻	—修士課程—

通信制

外国語学研究科

英語学専攻	—博士前期課程—
	—博士後期課程—

With
All Your Heart
その一歩を、ともに。

目　　次

共　　通	○	入学試験日程	・・・	2
	○	募集人員、出願書類、入学検定料、出願方法、試験	・・・	3
	○	合否結果通知、入学手続	・・・	4
	○	入学試験に関する個人情報の開示について、事前審査	・・・	5
通　学　制		募集演習一覧	・・・	7
		名古屋学院大学大学院の目的／入学受入方針	・・・	8
		【修士課程・博士前期課程】		
	○	一般入学試験	・・・	9
	○	社会人特別入学試験	・・・	12
	○	本学大学院修了（見込）者特別入学試験	・・・	14
	○	本学特別推薦入学試験	・・・	15
	○	本学留学生別科特別推薦入学試験	・・・	16
	○	大学院進学コース入学試験	・・・	18
	○	留学生特別入学試験（日本国内在住者）	・・・	19
	○	協定企業等派遣者特別入学試験	・・・	21
		【博士後期課程】		
	○	一般・留学生特別（国内在住者）入学試験	・・・	22
		【綴じ込み書類】		
＜通学・様式１＞		入学志願書　（修士課程・博士前期課程志願者用）		
＜通学・様式２＞		入学志願書　（博士後期課程志願者用）		
＜通学・様式３＞		研究計画書		
＜通学・様式４＞		所見書		
＜通学・様式５＞		本学留学生別科特別推薦入学試験推薦書		
＜通学・様式６＞		協定企業等特別入学試験推薦書		
＜通学・様式７＞		費用負担説明書　（留学生用）		
＜通学・様式８＞		保証書　（留学生用）		
＜通学・事前様式１＞		入学試験出願資格事前審査申請書		
＜通学・事前様式２＞		出願資格調書（履歴書）		
通　信　制		募集演習一覧	・・・	23
		名古屋学院大学通信制大学院の目的／入学受入方針	・・・	24
		【博士前期課程】		
	○	一般入学試験	・・・	25
		【博士後期課程】		
	○	一般入学試験	・・・	26
		【綴じ込み書類】		
＜通信・様式１＞		入学志願書　（博士前期課程志願者用）		
＜通信・様式２＞		エントリーシート　（博士前期課程志願者用）		
＜通信・様式３＞		入学志願書　（博士後期課程志願者用）		
＜通信・様式４＞		研究計画書　（博士後期課程志願者用）		
＜通信・事前様式１＞		入学試験出願資格事前審査申請書		
＜通信・事前様式２＞		出願資格調書（履歴書）		
		入学検定料振込用紙		
		入学検定料支払いの利用手順および検定料の支払い方法について	・・・	巻末

1　入学試験日程

通学制【修士・博士前期課程】

入試区分	研究科	専攻	試験日	出願期間（必着）	合格発表	手続締切日
第Ⅰ期	経済経営	経済学	2024 年 2 月 3 日（土）	2024 年 1 月 8 日（月） ～ 1 月 18 日（木）	2024 年 2 月 19 日（月）	2024 年 3 月 1 日（金）
		経営政策				
	外国語学	英語学				
		国際文化協力				
第Ⅱ期	経済経営	経済学	2024 年 3 月 2 日（土）	2024 年 1 月 29 日（月） ～ 2 月 8 日（木）	2024 年 3 月 8 日（金）	2024 年 3 月 15 日（金）
		経営政策				
	外国語学	英語学				
		国際文化協力				

・第Ⅱ期入試については演習によって募集しない場合があります。

【博士後期課程】

入試区分	研究科	専攻	試験日	出願期間（必着）	合格発表	手続締切日
	経済経営	経営政策	2024 年 2 月 3 日（土）	2024 年 1 月 8 日（月） ～ 1 月 18 日（木）	2024 年 2 月 19 日（月）	2024 年 3 月 1 日（金）

通信制【博士前期課程】

入試区分	研究科	専攻	試験会場	試験日	出願期間（必着）	合格発表	手続締切日
	外国語学	英語学	東京	2024 年 2 月 24 日（土）	2024 年 1 月 29 日（月） ～ 2 月 8 日（木）	2024 年 3 月 8 日（金）	2024 年 3 月 15 日（金）
			大阪	2024 年 2 月 25 日（日）			
			名古屋	2024 年 3 月 2 日（土）			

【博士後期課程】

入試区分	研究科	専攻	試験会場	試験日	出願期間（必着）	合格発表	手続締切日
	外国語学	英語学	名古屋	2024 年 2 月 3 日（土）	2024 年 1 月 8 日（月） ～ 1 月 18 日（木）	2024 年 2 月 19 日（月）	2024 年 3 月 1 日（金）

通学・通信制共通

・入学日はいずれも 2024 年 4 月 1 日となります。

・出願資格によっては、事前審査が必要な場合があります。各入学試験ごとに事前審査受付期間が設けられています。詳細は、「10 事前審査」（5 ページ）をご確認ください。

2　募集人員

通学制

経済経営研究科			外国語学研究科		
経済学専攻	修士課程	2 名	英語学専攻	修士課程	2 名
経営政策専攻	博士前期課程	10 名	国際文化協力専攻	修士課程	2 名
経営政策専攻	博士後期課程	2 名			（全試験日程合計）

＊ 各専攻とも昼夜開講制＜平日(月)～(金)昼間 9：00～18：00、夜間 18：15～21：15、(土)9：30～16：45＞です。

通信制

外国語学研究科		
英語学専攻	博士前期課程	20 名
英語学専攻	博士後期課程	1 名

（全試験日程合計）

3　出願書類

各入学試験の出願書類を確認し、不備のないように準備してください。必ず黒（または青）のボールペンで記入してください。

4　入学検定料　　35,000 円

入学検定料の納入方法は以下のとおりです。

1）**郵便振替用紙を使用**

本学所定の郵便振替用紙を使用してください。納入後、受付郵便局日付印の押された「郵便振替払込受付証明書」を入学志願書の貼付欄に貼付してください。

2）**コンビニエンスストアの情報端末を使用**

コンビニエンスストアの情報端末は、出願期間内のみ利用できます。詳細は巻末の「検定料の支払い方法」をご覧ください。入学検定料を納入後、納入を証明する書類（レシート）を、入学志願書に貼付または同封してください。

3）**ネットバンキング・クレジットカードを使用**

ネットバンキング・クレジットカード決済を利用できます。詳細は巻末の「検定料の支払い方法」をご覧ください。

5　出願方法

出願期間内に、郵送（簡易書留等で郵送してください）または大学院事務室へ直接持参してください。

〈出願書類郵送・持参先〉

〒456-0062　愛知県名古屋市熱田区大宝三丁目１番１７号
名古屋学院大学　名古屋キャンパスひびの７階　大学院事務室　宛

※　注意事項

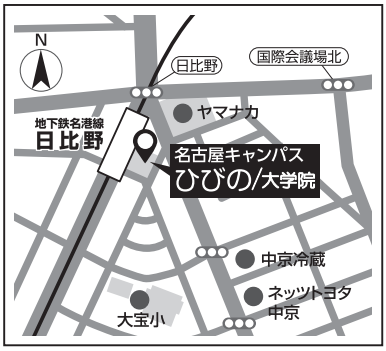
- 出願書類は一括して封筒（市販のもので可）に入れ、「入学志願書在中」と朱書きし、簡易書留等で出願期間内（**必着**）に郵送または持参してください。
- 出願書類に不備がある場合は受理することができません。必ず出願書類の確認をしてから提出してください。
- 大学院事務室へ持参の場合は、平日 10：30～18：15（長期休暇中の窓口時間については、ホームページをご確認ください）の受付となります。
- **一旦提出（納入）いただいた出願書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。**
- 受験票は、出願期間締切後に郵送します。本学ホームページ上で受験票発送の案内をしますので、案内後 2～3 日してもお手元に届かない場合は大学院事務室（TEL：052-678-4076　E-mail：ngugs@ngu.ac.jp）までご連絡ください。

6　試験

通学制

試験会場は、名古屋学院大学　名古屋キャンパスひびので実施します。

■名古屋学院大学 名古屋キャンパスひびの
名古屋市熱田区大宝三丁目 1 番 17 号
名古屋学院大学　名古屋キャンパスひびの
TEL：052-678-4076
FAX：052-682-6869
※地下鉄「日比野」駅 5 番出口すぐ



通信制

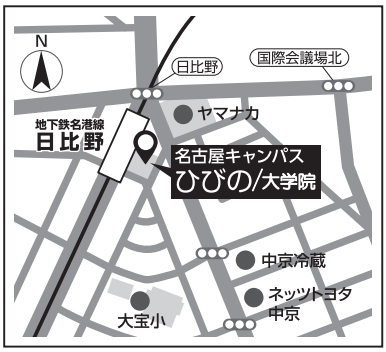
試験会場は、次の会場で実施します。

名古屋会場

〈前期課程〉
3/2（土）

〈後期課程〉
2/3（土）

■名古屋学院大学 名古屋キャンパスひびの
名古屋市熱田区大宝三丁目 1 番 17 号
名古屋学院大学　名古屋キャンパスひびの
TEL：052-678-4076
FAX：052-682-6869
※地下鉄「日比野」駅 5 番出口すぐ

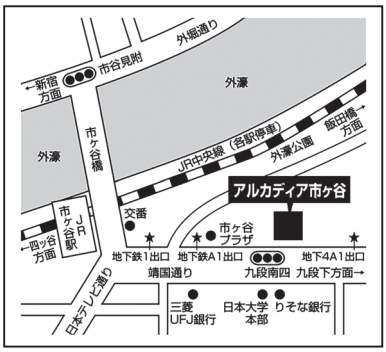


東京会場

2/24（土）

■アルカディア市ヶ谷
東京都千代田区九段北 4-2-25
TEL：03-3261-9921

JR 中央線、東京メトロ有楽町線・南北線、
都営新宿線　各「市ヶ谷駅」より徒歩約 2 分

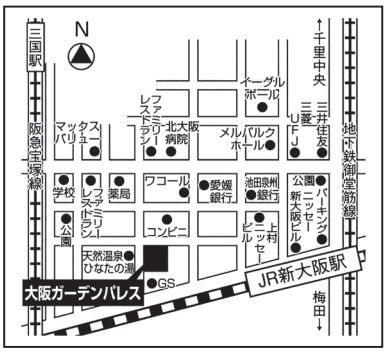


大阪会場

2/25（日）

■大阪ガーデンパレス
大阪市淀川区西宮原 1-3-35
TEL：06-6396-6211

JR 東海道線、地下鉄御堂筋線　各「新大阪駅」下車地下鉄
２番出口より無料シャトルバスで 3 分または徒歩 10 分
（詳細は大阪ガーデンパレスのホームページをご覧ください。）



※　注意事項
- 受験者数によって試験開始時刻を決定しますので、必ず受験票で開始時刻を確認してください。
- 受験票を忘れた（紛失した）場合は、係りの者に申し出てください。
- 試験中は、携帯電話の電源を切り、かばん等にしまってください。
- 筆記試験と面接の間、受験人数、面接順等の関係でしばらくお待ちいただくことがあります。
- 遅刻限度は 30 分です。30 分以上遅刻した場合は、受験ができません。
- 感染症の状況によっては、入学試験要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することがあります。

7　合否結果通知

合格発表日付で、本人宛郵送で通知します。電話等による結果の問い合わせには応じられません。

8　入学手続

入学手続金の納入および必要書類の提出を手続締切日までに完了してください。
手続締切日は、「1　入学試験日程」（2 ページ）をご確認ください。

1）　学費（2023 年度現在）

通学制

区分	入学手続時	秋学期	備考
入学金	200，000 円	—	本学学部卒業生は半額 本学大学院修了生は免除
授業料	370，000 円	370，000 円	秋学期学費については、毎年 9 月下旬にご案内します。
合計	570，000 円	370，000 円	

＊ 2024 年度の学費は、2023 年 10 月に決定します。

通信制

区分	入学手続時	秋学期	備考
入学金	200，000 円	―	本学学部卒業生は半額 本学大学院修了生は免除
授業料	270，000 円	270，000 円	秋学期学費については、毎年 9 月下旬にご案内します。
合計	470，000 円	270，000 円	

＊ 2024 年度の学費は、2023 年 10 月に決定します。

2）提出書類　　合格通知時に案内します。

※　注意事項

・　入学手続時に納入いただく金額は、分納・延納等はできません。必ず所定の期日までに所定の金額を納入してください。

・　入学金は、納入後いかなる理由があっても返還いたしません。

・　入学手続後に入学を辞退される際は、2024 年 3 月 29 日(金)までに、**本人から書面（所定用紙）による返還請求**があった場合に限り、納入金のうち入学金を除く授業料を返還します。詳細は、大学院事務室までお問い合わせください。

・　使用する「指定教材」（教科書）代金は別途必要です。（履修される科目数等により異なります。およそ 1 年次 3～5 万円、2 年次 1～3 万円程度)。指定教材等は、各自で手配・購入をお願いします。

・　（通信制のみ）授業料には「スクーリング」授業料が含まれています。

9　入学試験に関する個人情報の開示について

大学院入学試験に関する個人情報については、志願者本人からの申請に基づき、疑義のある場合等に開示します。

2024 年度入学試験に関する個人情報の開示は以下のとおりとなります。

1）請求者　　志願者本人に限ります。（代理人等からによる請求はできません）

2）請求方法　　以下書類を同封し、大学院事務室まで郵送してください。

・入学試験個人情報開示請求書（大学院事務室までお問い合わせください）

・開示を希望する入学試験の受験票

・返送用郵送料 244 円分（定型郵便 25ｇ84 円＋特定記録 160 円）の郵便切手

3）開示請求期間

開示請求を受付ける期間は、2024 年 4 月 1 日から 4 月 30 日とします。

4）開示方法

入学試験個人情報開示請求書が大学院事務室に到着後、約 3 週間程度で請求者本人宛に、送付された受験票とともに、特定記録で郵送します。

＊ 出願および入学手続にあたり、いただいた氏名・住所等個人情報につきましては、個人情報保護法に則り適切に取り扱いをおこないます。また、いただいた個人情報は、入学試験の実施、合格発表、入学手続と、これらに付随する業務および入学後の資料として利用します。

10　事前審査

出願資格によっては、事前審査が必要な場合があります。各入学試験の出願資格を確認し、事前審査が必要な場合は、以下の期日までに事前審査申請（書類提出）をしてください。申請締切日から 3 週間以内に、本人宛書面の郵送で結果を通知します。

＊　**書類は、下記申請期限内に必着のこと。**

通学制

○ 経済経営研究科（経済学専攻・経営政策専攻博士前期課程）、外国語学研究科（英語学専攻、国際文化協力専攻）：

第Ⅰ期入学試験： 2023年11月6日（月）～11月17日（金）

第Ⅱ期入学試験： 2023年12月11日（月）～12月22日（金）

○ 経済経営研究科（経営政策専攻博士後期課程）：入学試験：2023年11月6日（月）～11月17日（金）

通信制

○　外国語学研究科（英語学専攻博士前期課程）：

入学試験（東京・大阪・名古屋）：2023年12月11日（月）～12月22日（金）

○　外国語学研究科（英語学専攻博士後期課程）：入学試験：2023年11月6日（月）～11月17日（金）

■ **事前審査提出書類**　以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	名古屋学院大学大学院・通信制大学院入学試験出願資格事前審査申請書	所定用紙＜事前様式１＞
2	出願資格調書（履歴書）	所定用紙＜事前様式２＞　写真貼付１枚 （最近３ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽無背景のカラー写真、受験時に眼鏡を着用する方は必ず眼鏡をかけたもの　縦30㎜×横25㎜）
3	最終出身学校の卒業（見込）証明書	発行3ヶ月以内のもの
4	最終出身学校の成績証明書	発行3ヶ月以内のもの ＊証明書発行ができない方は発行できない旨の証明書をご提出ください。
5	返信用封筒	定形封筒長型3号（120㎜×235㎜）に返送先の郵便番号・住所・氏名を明記し、84円切手（定型郵便25ｇ84円）を貼り付けてください。
6	【該当者のみ】 在学証明書および成績証明書・履修証明書	以下の出願資格で出願したい方 「大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者」
7	【該当者のみ】 職務歴の証明書	在職証明書、雇用保険被保険者証、雇用保険被保険者資格喪失確認通知書のコピー等 ＊複数の職務を経験の場合、その全てについて証明すること。 職務年数が確認できるもの。
8	【該当者のみ】 公的資格取得に関する証明書等（コピー可）	取得資格・免許、検定等の証明書（教育職員免許状、税理士試験結果通知書、TOEIC・TOEFLの検定証明書等も該当）
9	【該当者のみ】 研究業績	・「公表論文・著書など」は公表した論文または発行した著書 ・「学会における発表」は発表プログラムやレジュメ集等 ・「受賞」は表彰・受賞に関する証明書（記事、賞状、証明書等） ・その他業績を証明する資料（記事、賞状、証明書、社内調査レポート等）
10	【外国籍の方のみ】 日本語能力に関する証明書	日本語能力試験の成績証明書　または、日本留学試験「日本語」の成績確認書
11	【外国籍の方のみ】 在留証明書	在留カード（外国人登録証明書）のコピー（国内在住者のみ）およびパスポートのコピー（写真の部分および査証の部分）
12	【該当者のみ】 その他	志願する研究科専攻に関連し、大学卒業と同等の学力等を有することを証明できる書類

※　注意事項

1)提出書類3,4,6については以下の注意事項があります。

1. 原則提出時前３ヶ月以内に発行されたもの。
2. 使用言語は、原則として日本語または英語によるもの。
3. 日本語または英語以外で記載されたものについては、日本語訳または英語訳を添付すること。
4. 中国の学校を卒業した者は、学校が直接発行した証明書を提出し、公証書等を代用しないこと。
5. 中国の学校を卒業した者は、オリジナル（原本）の卒業証書の写しも提出すること。

2) 提出書類は、必ず黒（または青）のボールペンで記入してください。

3) 追加で上記以外の書類の提出をお願いする場合もあります。

4) 成績証明書等の準備には時間がかかることが予想されますので早めに準備をしてください。出願資格事前審査受付期間内に提出できない場合には出願は認められません。

5) 卒業（見込）証明書などの学歴を証明する書類を用意できない場合や、在職証明書などの職務歴を証明する書類を用意できない場合（但し、書類の準備が間に合わない場合を除く）は、これまでの学歴（学修歴）、職務歴についてA4用紙1～2枚程度に具体的に記述し、他の事前審査書類と併せて提出してください。（例：何をどのように学んできたか、社会での実務経験、大学の科目等履修生としての実績等）

6) 結婚等による氏名の変更で、証明書記載の氏名と異なる場合は、戸籍抄本（発行３カ月以内）を添付してください。

7) 一旦受付した書類は、いかなる理由があっても返還いたしません。

通学制　2024 年度　募集演習一覧（修士課程、博士前期課程、博士後期課程）

【修士課程・博士前期課程】

○経済経営研究科　経済学専攻

理論経済学演習	阿部　太郎　教授	計量経済学演習	野村　益夫　教授
経済史演習	河原林直人　教授	情報経済論演習	児島　完二　教授
国際経済論演習	伊沢　俊泰　教授	産業組織論演習	大石　邦弘　教授
資源経済論演習	木船　久雄　教授	社会政策論演習	小林　甲一　教授
社会学理論演習	早川　洋行　教授	都市政策論演習	水野　晶夫　教授
地域政策論演習	古池　嘉和　教授		

○経済経営研究科　経営政策専攻

経営管理系演習	髙木　直人　教授 林　淳一　教授	マーケティング系演習	岡本　純　教授 濵　満久　教授
企業会計系演習	上田　幸則　教授 豊岡　博　教授	ファイナンス系演習	青木　圭介　教授
税法系演習	伊藤　雄太　教授 森田　辰彦　客員教授	経営情報系演習	伊藤　昭浩　教授 程　鵬　教授 三輪　冠奈　教授

○外国語学研究科　英語学専攻

英語学論文演習	今仁　生美　教授 須川　精致　教授	英語音声学論文演習	城　哲哉　教授
		英語教育工学論文演習	柳　善和　教授
応用言語学論文演習	P.R.Morrow　教授	英米文学論文演習	西村　美保　教授 米山　雅浩　教授

○外国語学研究科　国際文化協力専攻

国際文化協力特別研究（日本歴史・文化）	鹿毛　敏夫　教授	国際文化協力特別研究（中国言語・文化）	黄　名時　教授　＊
国際文化協力特別研究（国際移民・文化）	佐竹　眞明　教授	国際文化協力特別研究（国際開発協力・文化）	長田こずえ　教授　＊
国際文化協力特別研究（国際政治・文化）	増田あゆみ　教授	国際文化協力特別研究（西洋思想・文化）	鈴木　啓司　准教授
国際文化協力特別研究（ドイツ文学・文化）	山本　淑雄　准教授		

＊院生 2 年次（2025 年度）より、指導教員および分野が変更となります。

【博士後期課程】

○経済経営研究科　経営政策専攻

経営原理研究指導	髙木　直人　教授	経営戦略研究指導	林　淳一　教授
金融システム研究指導	青木　圭介　教授	企業会計研究指導	上田　幸則　教授
マーケティング研究指導	岡本　純　教授	流通システム研究指導	濵　満久　教授
経営情報研究指導	三輪　冠奈　教授	オペレーションズ・リサーチ研究指導	程　鵬　教授
社会経済システム研究指導	阿部　太郎　教授	福祉政策研究指導	小林　甲一　教授
地域政策研究指導	古池　嘉和　教授		

※演習科目名および指導教員は変更となる場合があります。

＝ 名古屋学院大学大学院の目的 ＝

本大学院は学校教育法および教育基本法の規定するところに従い、学部の教育の基礎の上に、高度にして専門的な学術の理論および応用を教授研究し、キリスト教主義に基づいて人格を陶冶することを目的とする。

＝ 名古屋学院大学大学院の各研究科・専攻の入学受入方針 ＝

■　経済経営研究科経済学専攻

＜求める学生像＞

経済学専攻は、以下の資質・能力を示した者を受け入れる。

①　社会・経済に高い関心を持ち、問題発見・解決を行う意欲を持つ者
②　論理的に思考し、自ら意見を表明し、議論を行う意欲を持つ者
③　経済学に関する基礎的知識を有する者

＜入学者選抜＞

入学希望者の特性に応じて、一般入学試験、社会人特別入学試験、留学生特別入学試験等の多様な選抜試験を行い、それぞれ書類審査、筆記試験、面接等の多角的評価によって、経済学専攻にふさわしい人材を選抜する。

■　経済経営研究科経営政策専攻博士前期課程

＜求める学生像＞

経営政策専攻博士前期課程は、以下の意欲を持つ者を受け入れる。

①　経営者、中間管理職に就いており経営を学びたい者
②　経営学の研究者を目指す者
③　税理士、教員の資格取得を目指す者
④　向学心旺盛で、自己啓発や自己完成をしたい者

＜入学者選抜＞

一般入学試験、社会人特別入学試験、留学生特別入学試験などで、多様な入学希望者を受け入れる。各入学試験では、書類審査、筆記試験、面接等の多角的評価によって選抜する。中でも研究者としての基礎的能力を重視するため、書類審査において「研究計画書」を最も重視している。

■　経済経営研究科経営政策専攻博士後期課程

＜求める学生像＞

経営政策専攻博士後期課程では、研究者養成だけでなく、社会で活躍している職業人を対象とし、理論と実際を融合させた教育を進めている。そのため、経営政策専攻本来の政策形成能力を論理的・歴史的・現実的な視点から達成し得るレベルへと学修を進められる者を受け入れる。

＜入学者選抜＞

修士論文の作成を通じて修得した研究能力や社会人としての経験を、入学志願書、研究計画書、修士論文要旨、これまでの発表研究論文、著書等と面接により審査することで、総合的な対応ができる高度な専門知識と実践能力をもった自立的な研究者や高度専門職業人になり得る者、若しくはその意欲を持つ者を選抜する。

■　外国語学研究科英語学専攻

＜求める学生像＞

英語学専攻では、以下の資質・能力のある者を受け入れる。

①　英語学（音声学、統語論、意味論）、英語教育（英語教育学、応用言語学）及び英米文学（イギリス文学、アメリカ文学、比較文学）などに関して、大学卒業レベル・一般常識レベルの幅広い学識を有する者
②　英語で書かれた研究書や論文を十分咀嚼できる英語読解力、英語でレポートなどをまとめることのできる英語ライティング力、プレゼンテーションや日常的なコミュニケーションで支障のない英語運用力を有している者
③　専門領域における研究テーマを深く論理的に追求できる研究力及び個々の研究に関連する領域の広範な学識を学びたいという意欲ある者

＜入学者選抜＞

入学希望者の特性に応じて、一般入学試験、社会人特別入学試験、留学生特別入学試験等の多様な選抜試験を行い、それぞれ書類審査、筆記試験、面接等の多角的評価によって、英語学専攻にふさわしい人材を選抜する。

■　外国語学研究科国際文化協力専攻

＜求める学生像＞

国際文化協力専攻は、以下の資質・能力を示した者を受け入れる。

①　国際文化・協力に高い関心を持ち、問題発見・解決を行う意欲を持つ者
②　論理的に思考し、自ら意見を表明し、議論を行う意欲を持つ者
③　国際文化・協力学に関する基礎的知識を有する者

＜入学者選抜＞

入学希望者の特性に応じて、一般入学試験、社会人特別入学試験、留学生特別入学試験等の多様な選抜試験を行い、それぞれ書類審査、筆記試験、面接等の多角的評価によって、国際文化協力専攻にふさわしい人材を選抜する。

【修士・博士前期課程】　一　般　入　学　試　験

1　募集研究科・専攻　経済経営研究科（経済学専攻、経営政策専攻）、外国語学研究科（英語学専攻、国際文化協力専攻）

2　出願資格

次のいずれかに該当する者。

1)　大学を卒業した者、または本学大学院入学時までに大学卒業見込みの者。
2)　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者。
3)　大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または本学大学院入学時までに授与見込みの者。
4)　専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または本学大学院入学時までに修了見込みの者。
5)　大学に 3 年以上在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。
6)　文部科学大臣が指定した者。
7)　本学大学院が、学歴によらず大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 22 歳に達した者。

＊ 5）の資格については、次のいずれかに該当する方が受験資格を満たします。

研究科	専攻	2 年次修了時点で卒業要件単位	「優」または「優」と同等の評価
経済経営	経済学	６５％以上修得していること	９０％以上
	経営政策	６５％以上修得していること	９０％以上
外国語学	英語学	６５％以上修得していること	９０％以上
	国際文化協力	６５％以上修得していること	９０％以上

＊ 出願資格の 5)、7）に該当する方は、事前審査が必要となります。事前審査については「10 事前審査」（5 ページ）をご覧ください。

3　出願書類　以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	**入学志願書**	所定用紙＜通学・様式１＞
2	**最終学歴証明書**	大学の卒業（見込）証明書、大学院の修了（見込）証明書、学位授与証明書　等 発行 3 ヶ月以内のもの ＊学位授与機構に学位授与申請中の場合は、学位授与申請書のコピーを提出してください。
3	**最終学歴の成績証明書**	発行 3 ヶ月以内のもの
4	**研究計画書**	所定用紙＜通学・様式３＞
5	**所見書**	所定用紙＜通学・様式４＞ 現在所属している演習指導教員等が記入し、**記入者が直接**郵送等で大学院事務室まで提出してください。
6	**志望する演習の課題論文** **【経営政策専攻出願者のみ】　※**	次ページ「2024 年度課題論文テーマ」を参照し、志望する演習（第 1 志望）の課題論文を**６，０００字程度**で作成すること。

2024 年度　課題論文テーマ

演習	指定課題
経営管理系演習	以下の２問のうち、希望する分野から任意で１問を選択し論述しなさい。 【経営学史】分野 アメリカの経営学者であるチェスター・バーナードが考える経営者に必要とされる道徳観について詳しく述べなさい。 【経営戦略論】分野 「変化のマネジメント」について述べなさい。実際の企業の事例やあなた自身の研究テーマなどと関連させるほうが望ましい。
マーケティング系演習	以下の２問のうち、希望する分野から任意で１問を選択し論述しなさい。 【マーケティング】分野 マーケティングの４P における製品の３層構造（１層＝中核「便益・ベネフィット」、２層＝製品の実態「パッケージ、ブランド、特性、デザイン、品質水準など」、３層＝製品の付随機能「取付・設置、アフターサービス、保証、クレジット、納品など）から事例を用いて製品概念について説明しなさい。 【流通】分野 農水産物を中心とした生鮮食品の中心的な流通システムである、卸売市場流通が形成された歴史的経緯について整理し、その基本的な仕組みや意義、現状について説明しなさい。また近年では、産直 EC（例えば「食べチョク」や「オイシックス」など）や生産者による直売所などのような生鮮食品流通の多様化がみられるが、従来の卸売市場流通と比較し、その意義や課題について論じなさい。
企業会計系演習	企業会計におけるパラダイムシフトについて説明しなさい。
ファイナンス系演習	物価上昇が日本の経済や金融システムに与える影響について説明し、その対応策について述べなさい。
経営情報系演習	以下の３問のうち、希望する分野から任意で１問を選択し論述しなさい。 【情報ビジネス】分野 ビジネス活用が進む XR（クロスリアリティ）技術について、その特徴や技術的背景、企業の事例を交えながら論述しなさい。 【データサイエンス】分野 データサイエンス（DS）のチカラでビジネスや生活における様々な課題を解決するきっかけになることから、業界問わず注目を集めている。事例を挙げながら，課題解決における DS の有効性について論述しなさい。 【経営科学】分野 サプライチェーンマネジメント（SCM）について説明し、SCM におけるデジタルテクノロジーの活用について企業の事例を用いて論述しなさい。
税法系演習	租税法律主義の内容のひとつに「課税要件法定主義」がある。他方、国会の議決を経ることなく行政が策定し公表する「政省令」、「通達」「Ｑ＆Ａ」等が現に存在している。「課税要件法定主義」とこれらとの関係について述べなさい。

4 試験科目

各専攻の試験科目は書類審査のほか、以下のとおりです。

専攻	試験科目	試験時間	備考
経済学	英語（2 題）	60 分	和訳問題　　外国語辞書持ち込み可（電子辞書は不可）
	専門科目	60 分	志望する演習科目の基礎に関する小論文 課題に対し１，０００字程度で記述
	面接	20 分	
経営政策	専門科目	60 分	志望する演習科目の基礎に関する小論文 課題に対し１，０００字程度で記述
	面接	20 分	
英語学	一般課題英作文	60 分	課題に対し、英語５００語程度で記述 外国語辞書持ち込み可（電子辞書は不可）
	小論文	60 分	「学部専攻内容と今後の研究について」を日本語１，０００字または英語３００～５００語程度で記述
	面接	20 分	
国際文化協力	英語または中国語	60 分	和訳問題　　外国語辞書持ち込み可（電子辞書は不可）
	小論文	60 分	課題に対し１，０００字程度で記述
	面接	20 分	

【修士・博士前期課程】　社会人特別入学試験

1　募集研究科・専攻　経済経営研究科（経済学専攻、経営政策専攻）、外国語学研究科（英語学専攻、国際文化協力専攻）

2　出願資格

次のいずれかに該当する者。

1)　大学を卒業した者で、大学院入学時に卒業後の職務年数が 2 年以上の者。
2)　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で、大学院入学時に修了後の職務年数が 2 年以上の者。
3)　大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者で、大学院入学時に授与後の職務年数が 2 年以上の者。
4)　専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者で、大学院入学時に修了後の職務年数が 2 年以上の者。
5)　大学に 3 年以上在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者で、大学院入学時に職務年数が 2 年以上の者。
6)　文部科学大臣が指定した者で、大学院入学時に職務年数が 2 年以上の者。
7)　本学大学院が、学歴によらず大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 22 歳に達しており、かつ職務年数が 2 年以上の者。

＊ 5）の資格については、次のいずれかに該当する方が受験資格を満たします。

研究科	専攻	2 年次修了時点で卒業要件単位	「優」または「優」と同等の評価
経済経営	経済学	６５％以上修得していること	９０％以上
	経営政策	６５％以上修得していること	９０％以上
外国語学	英語学	６５％以上修得していること	９０％以上
	国際文化協力	６５％以上修得していること	９０％以上

＊ 出願資格の 5)、7)に該当する方は、事前審査が必要となります。事前審査については、「10 事前審査」（5 ページ）をご覧ください。

3　出願書類　以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	**入学志願書**	所定用紙＜通学・様式１＞
2	**最終学歴証明書**	大学の卒業（見込）証明書、大学院の修了（見込）証明書、学位授与証明書　等 発行 3 ヶ月以内のもの ＊学位授与機構に学位授与申請中の場合は、学位授与申請書のコピーを提出してください。
3	**研究計画書**	所定用紙＜通学・様式３＞
4	**職務年数が 2 年以上あることを証明する資料**	在職証明書（様式は任意）、雇用保険被保険者証、雇用保険被保険者資格喪失確認通知書のコピー　等 ＊複数の職務を経験の場合、その全てについて証明すること。職務年数が確認できるもの。

４ 試験科目　各専攻の試験科目は書類審査のほか、以下のとおりです。

専攻	試験科目	試験時間	備考
経済学	専門科目	60 分	志望する演習科目の基礎に関する小論文 課題に対し１，０００字程度で記述
	面接	20 分	
経営政策	専門科目	60 分	志望する演習科目の基礎に関する小論文 課題に対し１，０００字程度で記述
	面接	20 分	
英語学	小論文	60 分	「実践・研究報告書」を日本語１，０００字または英語３００～５００語程度で記述 ※ご自身がこれまでに関わってきた英語学の内容あるいは今後の研究内容・展望について具体的に記載する。
	面接	20 分	
国際文化協力	小論文	60 分	課題に対し１，０００字程度で記述
	面接	20 分	

【修士・博士前期課程】　本学大学院修了（見込）者特別入学試験

1　募集研究科・専攻　経済経営研究科（経済学専攻、経営政策専攻）

2　出願資格

本学大学院経済経営研究科の修了者または本学大学院入学時までに修了見込みの者。
（ただし、修了または修了見込の専攻と同一の専攻は出願できません）

3　出願書類　以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	入学志願書	所定用紙＜通学・様式１＞
2	研究計画書	所定用紙＜通学・様式３＞
3	修士論文要旨	A4（1 ページあたり 40 字/行×35 行）で 10 枚以内、および参考文献・引用文献一覧を添付
4	発表済著書・論文等（コピー可）	最近 3 年以内のもので、公表されたものがある場合
5	所見書	所定用紙＜通学・様式４＞ 現在所属している演習指導教員等が記入し、記入者が直接郵送等で大学院事務室まで提出してください。

4　試験科目　各専攻の試験科目は書類審査のほか、以下のとおりです。

専攻	試験科目	試験時間
経済学 経営政策	修士論文審査	
	面接	20 分

【修士・博士前期課程】　本学特別推薦入学試験

1　募集研究科・専攻　経済経営研究科（経済学専攻、経営政策専攻）、外国語学研究科（英語学専攻、国際文化協力専攻）

2　出願資格

次のいずれかに該当する者。

（経済経営研究科　経済学専攻）

・本学を大学院入学時までに卒業見込みの者で、ＧＰＡが３．０以上の者。

（経済経営研究科　経営政策専攻）

・本学を大学院入学時までに卒業見込みの者で、全取得科目の成績が平均３．５（＊）以上の者。

（外国語学研究科　英語学専攻、国際文化協力専攻）

・本学を大学院入学時までに卒業見込みの者で、全取得科目の成績が平均３．２（＊）以上の者。

・本学を大学院入学時までに卒業見込みの者で、本研究科が特に優秀であると認めた者。

＊S･Aを4、B･Rを3、Cを2として取得単位を掛け、その値を全取得単位数（単位取得していない科目は除きます）で割った数値。

3　出願書類　以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	入学志願書	所定用紙＜通学・様式１＞
2	卒業見込証明書	発行３ヶ月以内のもの
3	成績証明書	発行３ヶ月以内のもの
4	卒業論文（コピー）	経済学専攻志願者で所属学部において卒業論文を作成した場合は提出してください。
5	研究計画書	所定用紙＜通学・様式３＞
6	所見書	所定用紙＜通学・様式４＞ 現在所属している演習指導教員等が記入し、**記入者が直接**郵送等で大学院事務室まで提出してください。

留学生の方は、以上1）～6）に加えて、以下の書類が必要となります。

7	費用負担説明書	所定用紙＜通学・様式７＞
8	在学中の費用負担能力を証明する資料	＊ 下記を参照してください。
9	保証書	所定用紙＜通学・様式８＞ 裏面の「保証書の書き方」を必ず参照してください。
10	在留カード（外国人登録証明書）	両面をコピーしてください。
11	パスポートおよび査証（ビザ）	コピーを提出してください。

＊ 8）在学中の費用負担能力を証明する資料について、以下①～③のいずれかの資料を提出してください。

① **志願者または志願者親族の預貯金残高証明書（原本）または預貯金通帳のコピー**

日本円で150万円以上の残高が必要となります。また、提出書類の名義が志願者親族の場合は、その名義人と志願者の関係がわかる書類が必要となります。

② **奨学金の受給証明書**

日本円で総額150万円以上のもので、大学院入学日から当該課程修了までの期間、奨学金を受給できることが記載されたものが必要となります。

③ **その他、本学大学院が認めた書類**

事前に大学院事務室までお問い合わせください。

4　試験科目　各専攻の試験科目は書類審査のほか、以下のとおりです。

専攻	試験科目	試験時間	備考
経済学	面接	30分	
経営政策	専門科目	60分	志望する演習科目の基礎に関する小論文 課題に対し１，０００字程度で記述
	面接	20分	
英語学	面接	20分	
国際文化協力	面接	20分	

＊英語学専攻、国際文化協力専攻：外国語での記述試験が課される場合があります。

【修士・博士前期課程】　本学留学生別科特別推薦入学試験

1　募集研究科・専攻　経済経営研究科（経済学専攻、経営政策専攻）、外国語学研究科（英語学専攻、国際文化協力専攻）

2　出願条件

勉学を目的としており、出入国管理および難民認定法において、大学院入試に支障のない在留資格「留学」を有する者、または、本学入学により有することとなる者。

＊「留学」以外の在留資格を有する方は、別途大学院事務室までお問い合わせください。

＊「留学」以外の在留資格を有する方も以下「出願資格」を要します。

3　出願資格

次の条件をすべて満たす者。

(1) 留学生別科修了（見込）者

・本学留学生別科に 1 年以上在学し、本学大学院入学時までに同科を修了（見込）の者。

(2) 日本語能力を有する者

・日本語能力試験N1（1 級）合格者　もしくは、日本留学試験「日本語」で、所定の点数を取得している者。

【所定の点数】

経済経営研究科	2010 年度以降の受験者は 270 点以上（記述を含む）、 2009 年度以前の受験者は 240 点以上
外国語学研究科	受験年度によらず、240 点以上（記述を含まない）

※ただし、次の条件を満たし、本学留学生別科長の推薦を受けた者は(2)の出願資格に代えることができる。

・本学留学生別科開講科目「日本語Ⅲ-2」を履修し、成績が A-以上の者。

もしくは、

・本学留学生別科開講科目「日本語Ⅳ」または「日本語Ⅴ」を履修し、成績が B+以上の者。

以上の出願資格を満たし、かつ次のいずれかに該当する方が出願いただけます。

1）大学を卒業した者、または本学大学院入学時までに大学卒業見込みの者。
2）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者。
3）大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または本学大学院入学時までに授与見込みの者。
4）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または本学大学院入学時までに修了見込みの者。
5）大学に 3 年以上在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。
6）文部科学大臣が指定した者。
7）本学大学院が、学歴によらず大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 22 歳に達した者。

＊ 5）の資格については、次のいずれかに該当する方が受験資格を満たします。

研究科	専攻	２年次修了時点で卒業要件単位	「優」または「優」と同等の評価	備考
経済経営	経済学	７０％以上修得していること	８０％以上	3 年次の成績が特に優れていること
	経営政策	６５％以上修得していること	９０％以上	
外国語学	英語学	６５％以上修得していること	９０％以上	
	国際文化協力	６５％以上修得していること	９０％以上	

＊ 出願資格の 5)、7）に該当する方は、事前審査が必要となります。事前審査については、「10 事前審査」（5 ページ）をご覧ください。

4 出願書類　以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	入学志願書	所定用紙＜通学・様式１＞
2	学部（大学院）の学歴証明書	学部の卒業（見込）証明書、大学院の修了（見込）証明書、学位授与証明書　等 発行３ヶ月以内のもの ＊学位授与機構に学位授与申請中の場合は、学位授与申請書のコピーを提出してください。
3	学部（大学院）の成績証明書	発行３ヶ月以内のもの
4	本学留学生別科の修了（見込）証明書	発行３ヶ月以内のもの
5	本学留学生別科の成績証明書	発行３ヶ月以内のもの
6	研究計画書	所定用紙＜通学・様式３＞
7	日本語能力に関する証明書	日本語能力試験の成績証明書　または、日本留学試験「日本語」の成績確認書
8	推薦書	所定用紙＜通学・様式５＞　＊本学留学生別科長の推薦者のみ 本学留学生別科の教員が記入し、別科長の推薦を得た上で提出してください。
9	費用負担説明書	所定用紙＜通学・様式７＞
10	在学中の費用負担能力を証明する資料	＊下記を参照してください。
11	保証書	所定用紙＜通学・様式８＞ 裏面の「保証書の書き方」を必ず参照してください。
12	在留カード（外国人登録証明書）	両面をコピーしてください。
13	パスポートおよび査証（ビザ）	コピーを提出してください。

＊　10）在学中の費用負担能力を証明する資料について、以下①～③のいずれかの資料を提出してください。

① **志願者または志願者親族の預貯金残高証明書（原本）または預貯金通帳のコピー**
日本円で 150 万円以上の残高が必要となります。また、提出書類の名義が志願者親族の場合は、その名義人と志願者の関係がわかる書類が必要となります。

② **奨学金の受給証明書**
日本円で総額 150 万円以上のもので、大学院入学日から当該課程修了までの期間、奨学金を受給できることが記載されたものが必要となります。

③ **その他、本学大学院が認めた書類**
事前に大学院事務室までお問い合わせください。

5 試験科目　各専攻の試験科目は書類審査のほか、以下のとおりです。

専攻	試験科目	試験時間	備考
経済学	面接	30 分	
経営政策	専門科目	60 分	志望する演習科目の基礎に関する小論文 課題に対し１，０００字程度で記述
	面接	20 分	
英語学	面接	20 分	
国際文化協力	面接	20 分	

＊英語学専攻、国際文化協力専攻：外国語での記述試験が課される場合があります。

【修士・博士前期課程】　大学院進学コース入学試験

1　募集研究科・専攻　外国語学研究科（英語学専攻、国際文化協力専攻）

2　出願資格

本学大学院進学コース（外国語学部および国際文化学部）に在学し、本学を卒業した者または大学院入学時までに卒業見込みの者で、全取得科目の成績が平均３．０（＊）以上の者。

＊S･Aを4、B･Rを3、Cを2として取得単位を掛け、その値を全取得単位数（単位取得していない科目は除きます）で割った数値。

3　出願書類　以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	入学志願書	所定用紙＜通学・様式１＞
2	卒業見込証明書	発行３ヶ月以内のもの
3	成績証明書	発行３ヶ月以内のもの
4	研究計画書	所定用紙＜通学・様式３＞
5	所見書	所定用紙＜通学・様式４＞ 現在所属している演習指導教員等が記入し、記入者が直接郵送等で大学院事務室まで提出してください。

留学生の方は、以上1）～5）に加えて、以下の書類が必要となります。

6	費用負担説明書	所定用紙＜通学・様式７＞
7	在学中の費用負担能力を証明する資料	＊下記を参照してください。
8	保証書	所定用紙＜通学・様式８＞ 裏面の「保証書の書き方」を必ず参照してください。
9	在留カード（外国人登録証明書）	両面をコピーしてください。
10	パスポートおよび査証（ビザ）	コピーを提出してください。

＊ 7）在学中の費用負担能力を証明する資料について、以下①～③のいずれかの資料を提出してください

① **志願者または志願者親族の預貯金残高証明書（原本）または預貯金通帳のコピー**
日本円で150万円以上の残高が必要となります。また、提出書類の名義が志願者親族の場合は、その名義人と志願者の関係がわかる書類が必要となります。

② **奨学金の受給証明書**
日本円で総額150万円以上のもので、大学院入学日から当該課程修了までの期間、奨学金を受給できることが記載されたものが必要となります。

③ **その他、本学大学院が認めた書類**
事前に大学院事務室までお問い合わせください。

4　試験科目

専攻	試験科目	試験時間
英語学	書類審査	
国際文化協力	書類審査	
	面接	20分

【修士・博士前期課程】　留学生特別入学試験（日本国内在住者）

1　募集研究科・専攻　経済経営研究科（経済学専攻、経営政策専攻）、外国語学研究科（英語学専攻、国際文化協力専攻）

2　出願条件

勉学を目的として日本に居住し、出入国管理および難民認定法において、大学院入試に支障のない在留資格「留学」を有する者、または、本学入学により有することとなる者。

＊「留学」以外の在留資格を有する方は、別途大学院事務室までお問い合わせください。

＊「留学」以外の在留資格を有する方も以下「出願資格」を要します。

3　出願資格

・日本語能力試験Ｎ１（１級）合格者

もしくは、

・日本留学試験「日本語」で、所定の点数を取得している者

【所定の点数】

経済経営研究科	2010 年度以降の受験者は 270 点以上（記述を含む）、 2009 年度以前の受験者は 240 点以上
外国語学研究科	受験年度によらず、240 点以上（記述を含まない）

※ただし、外国語学研究科志願者で日本の大学を卒業（含見込）した者、または日本の大学院を修了（含見込）した者は上記を免除する。

以上 2 点のうちいずれかを満たし、かつ次のいずれかに該当する方が出願いただけます。

1）大学を卒業した者、または本学大学院入学時までに大学卒業見込みの者。
2）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者。
3）大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または本学大学院入学時までに授与見込みの者。
4）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または本学大学院入学時までに修了見込みの者。
5）大学に 3 年以上在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。
6）文部科学大臣が指定した者。
7）本学大学院が、学歴によらず大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 22 歳に達した者。

＊ 5）の資格については、次のいずれかに該当する方が受験資格を満たします。

研究科	専攻	２年次修了時点で卒業要件単位	「優」または「優」と同等の評価	備考
経済経営	経済学	７０％以上修得していること	８０％以上	3 年次の成績が特に優れていること
	経営政策	６５％以上修得していること	９０％以上	
外国語学	英語学	６５％以上修得していること	９０％以上	
	国際文化協力	６５％以上修得していること	９０％以上	

＊ 出願資格の 5)、7）に該当する方は、事前審査が必要となります。事前審査については、「10 事前審査」（5 ページ）をご覧ください。

4 出願書類　以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	入学志願書	所定用紙＜通学・様式１＞
2	最終学歴証明書	大学の卒業（見込）証明書、大学院の修了（見込）証明書、学位授与証明書　　等 発行３ヶ月以内のもの ＊学位授与機構に学位授与申請中の場合は、学位授与申請書のコピーを提出してください。
3	最終学歴の成績証明書	発行３ヶ月以内のもの
4	日本語能力に関する証明書	日本語能力試験の成績証明書　または、日本留学試験「日本語」の成績確認書＊
5	研究計画書	所定用紙＜通学・様式３＞
6	所見書	所定用紙＜通学・様式４＞ 現在所属している演習指導教員等が記入し、記入者が直接郵送等で大学院事務室まで提出してください。
7	費用負担説明書	所定用紙＜通学・様式７＞
8	在学中の費用負担能力を証明する資料	＊下記を参照してください。
9	保証書	所定用紙＜通学・様式８＞ 裏面の「保証書の書き方」を必ず参照してください。
10	在留カード（外国人登録証明書）	両面をコピーしてください。
11	パスポートおよび査証（ビザ）	コピーを提出してください。

＊　4) 日本語能力に関する証明書については、外国語学研究科志願者で、日本の大学（大学院）を卒業または修了（含見込）した者は不要です。

＊　8) 在学中の費用負担能力を証明する資料について、以下①～③のいずれかの資料を提出してください。

① **志願者または志願者親族の預貯金残高証明書（原本）または預貯金通帳のコピー**
日本円で 150 万円以上の残高が必要となります。また、提出書類の名義が志願者親族の場合は、その名義人と志願者の関係がわかる書類が必要となります。

② **奨学金の受給証明書**
日本円で総額 150 万円以上のもので、大学院入学日から当該課程修了までの期間、奨学金を受給できることが記載されたものが必要となります。

③ **その他、本学大学院が認めた書類**
事前に大学院事務室までお問い合わせください。

5 試験科目　各専攻の試験科目は書類審査のほか、以下のとおりです。

専攻	試験科目	試験時間	備考
経済学	専門科目	60 分	志望する演習科目の基礎に関する小論文 課題に対し１，０００字程度で記述
	面接	20 分	
経営政策	専門科目	60 分	志望する演習科目の基礎に関する小論文 課題に対し１，０００字程度で記述
	面接	20 分	
英語学	一般課題英作文	60 分	課題に対し、英語５００語程度で記述 外国語辞書持ち込み可（電子辞書は不可）
	小論文	60 分	「学部専攻内容と今後の研究について」を日本語１，０００字または英語３００～５００語程度で記述
	面接	20 分	
国際文化協力	小論文	60 分	課題に対し１，０００字程度で記述（日本語で記述）
	面接	20 分	

【博士前期課程】　協定企業等派遣者特別入学試験

１　募集研究科・専攻　　経済経営研究科（経営政策専攻）

２　出願資格

協定企業の正社員で、所属長からの推薦が得られる者。

３　出願書類　　以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	入学志願書	所定用紙＜通学・様式１＞
2	研究計画書	所定用紙＜通学・様式３＞
3	協定企業の所属長からの推薦書	所定用紙＜通学・様式６＞
4	その他本学大学院が指示するもの	

４　試験科目　　各専攻の試験科目は書類審査のほか、以下のとおりです。

専攻	試験科目	試験時間	備考
経営政策	専門科目	60 分	志望する演習科目の基礎に関する小論文 課題に対し１，０００字程度で記述
	面接	20 分	

【博士後期課程】　一般・留学生特別（国内在住者）入学試験

1　募集研究科・専攻　　経済経営研究科（経営政策専攻）

2　出願資格

次のいずれかに該当する者。

1)　修士の学位を授与された者、または大学院入学時までに授与される見込みの者。

2)　外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者、または大学院入学時までに授与される見込みの者。

3)　文部科学大臣が指定した者。

4)　本学大学院が、学歴によらず修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 24 歳に達した者。

※　なお外国籍の方は、**出入国管理および難民認定法において、在留資格「留学」を有する者、または、本学入学により有することとなる者**で、

- **日本語能力試験Ｎ１（１級）合格者**
- **日本留学試験「日本語」で、2010 年度以降の受験者は 270 点以上（記述を含む）、2009 年度以前の受験者は 240 点以上の取得者。**

以上 2 点のうちいずれかを満たしていることが必須となりますので、ご注意ください。

＊ 出願資格の 4）に該当する方は、事前審査が必要となります。事前審査については、「10 事前審査」（5 ページ）をご覧ください。

3　出願書類　　以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	入学志願書	所定用紙＜通学・様式２＞
2	最終学歴証明書	修士の学位（取得見込）証明書　　発行 3 ヶ月以内のもの 本学大学院修了（見込）者は不要
3	最終学歴の成績証明書	修士課程の成績証明書　　発行 3 ヶ月以内のもの 本学大学院修了（見込）者は不要
4	研究計画書	所定用紙＜通学・様式３＞
5	修士論文（コピー）	本学大学院修了（見込）者は不要
6	修士論文要旨	A4（1 ページあたり 40 字/行×35 行）で 10 枚以内、および参考文献・引用文献一覧を添付
7	発表済著書・論文等（コピー可）	最近 3 年以内のもので、公表されたものがある場合
8	所見書	所定用紙＜通学・様式４＞ 現在所属している演習指導教員等が記入し、記入者が直接郵送等で大学院事務室まで提出してください。

留学生の方は、以上 1）～8）に加えて、以下の書類が必要となります。

9	日本語能力に関する証明書	日本語能力試験の成績証明書　または、日本留学試験「日本語」の成績確認書
10	費用負担説明書	所定用紙＜通学・様式７＞
11	在学中の費用負担能力を証明する資料	＊下記を参照してください。
12	保証書	所定用紙＜通学・様式８＞ 裏面の「保証書の書き方」を必ず参照してください。
13	在留カード（外国人登録証明書）	両面をコピーしてください。
14	パスポートおよび査証（ビザ）	コピーを提出してください。

＊　11）在学中の費用負担能力を証明する資料について、以下①～③のいずれかの資料を提出してください。

① **志願者または志願者親族の預貯金残高証明書（原本）または預貯金通帳のコピー**

日本円で 150 万円以上の残高が必要となります。また、提出書類の名義が志願者親族の場合は、その名義人と志願者の関係がわかる書類が必要となります。

② **奨学金の受給証明書**

日本円で総額 150 万円以上のもので、大学院入学日から当該課程修了までの期間、奨学金を受給できることが記載されたものが必要となります。

③ **その他、本学大学院が認めた書類**

事前に大学院事務室までお問い合わせください。

4　試験科目　　**面接（60 分）、修士論文審査、書類審査**

＜通学・様式 1＞

証明写真
1. 上半身正面・脱帽・無背景のカラー写真 2. 最近 3 ヶ月以内撮影 3. 縦 30㎜×横 25㎜

受験番号　　※

※記入しない

名古屋学院大学大学院　入学志願書

修士課程・博士前期課程

以下の内容について必要事項を記入してください。

志願研究科 専攻 （〇で囲む）	**経済経営研究科経済学専攻**　　**経済経営研究科経営政策専攻** **外国語学研究科英語学専攻**　　**外国語学研究科国際文化協力専攻**			
試験区分 （〇で囲む）	一般　・　社会人　・　本院修了（見込）者　・　本学特別推薦　・　本学留学生別科特別推薦 大学院進学コース　・　留学生特別（国内在）　・　協定企業等			
入試区分 （〇で囲む）	Ⅰ期　・　Ⅱ期			
（フリガナ） 志願者氏名	姓　　名		性別	男　・　女
志願者氏名 ローマ字表記	（パスポート表記と同一にすること）	生年 月日	（西暦） 年　月　日（　才）	
志望演習名 （および教員名） ＊P. 7 参照	第１志望	第２志望	第３志望	
現住所	〒			
	(電話番号)	(携帯電話番号)		
	(FAX 番号)	(E-mail)		

連絡先（現住所以外で必ず連絡の取れる所：勤務先・携帯電話番号　等）

連絡先名：

電話番号：　　携帯電話番号：

学歴（古いものより順に記入）※高等学校以上を記入

期間	学校（高校・大学）名等	学部・研究科／専攻名　等	修学年数	取得学位等(＊1)
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				

年号は全て西暦で記入すること。＊1「卒業(見込)・修了(見込)・中退・その他」をいれる。学部等の研究生の場合は「研究生」と記入。

（裏面へ続く）

＜通学・様式 1＞

職務歴（古いものより順に記入）

期間	勤務先名・部署名等	担当した主な業務（できるだけ具体的に）
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		

外国語能力（自己評価で該当する部分に〇をつけてください）＊母語を除く

	読む	書く	聞く	話す
英　語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
日本語 （留学生のみ）	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
（　　）語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
（　　）語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可

TOEFL	点	TOEIC	点	英語検定	級
HSK		中国語検定	級		
税理士試験					

修了後の進路予定（〇をつける）

進学（博士後期課程）・進学（他専攻・他大学院）・就職・職務を継続・母国へ帰国

その他（　　）

＊ 税理士試験科目免除の希望（該当者のみチェックをいれる）　□希望する　□希望しない

受験の際に配慮してほしいこと

修学中に考慮してほしいこと

入学検定料払込証明書
貼付欄

＊郵便振替払込受付証明書またはコンビニエンスストア情報端末による検定料振込の証明書を貼付してください。

＊ネットバンキングまたはクレジットカード支払の方は下記に記入してください。

□ネットバンキング
□クレジットカード
〔支払日：____月_____日〕
〈要記入〉

以下は留学生のみ記入してください。

国　籍 （留学生のみ）	
パスポート番号 （留学生のみ）	有効期限：　年　月　日
在留資格 （〇をつける）	留学・就労・その他（　　）
母国連絡先 （留学生のみ）	フリガナ 氏　名　（志願者との関係　　） 母国住所： 電話番号：

＜通学・様式2＞

証明写真
1. 上半身正面・脱帽・無背景のカラー写真 2. 最近3ヶ月以内撮影 3. 縦30㎜×横25㎜

受験番号　　※

※記入しない

名古屋学院大学大学院　入学志願書

博士後期課程

以下の内容について必要事項を記入してください。

志願研究科専攻	経済経営研究科経営政策専攻		
試験区分 （○で囲む）	一般　・　留学生（国内在住者）		
（フリガナ） 志願者氏名	姓　　名	性別	男　・　女
		在学当時の学籍番号 ＊本学修士修了（見込）者は記入	ME MF
志願者氏名 ローマ字表記	（パスポート表記と同一にすること）	生年月日	（西暦） 年　月　日（　才）
志望 研究指導名 （および教員名） ＊P.7参照	第1志望	第2志望	
現住所	〒		
	(電話番号)	(携帯電話番号)	
	(FAX番号)	(E-mail)	

連絡先（現住所以外で必ず連絡の取れる所：勤務先・携帯電話番号　等）

連絡先名：

電話番号：　　携帯電話番号：

修士論文名 （タイトル）		修士論文 指導教員名	

学歴（古いものより順に記入）　＊高等学校以上を記入

期間	学校（高校・大学）名等	学部・研究科／専攻名　等	修学年数	取得学位等(＊1)
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				

年号は全て西暦で記入すること。＊1「卒業(見込)・修了(見込)・中退・その他」をいれる。学部等の研究生の場合は「研究生」と記入。

（裏面へ続く）

＜通学・様式2＞

職務歴（古いものより順に記入）

期間	勤務先名・部署名等	担当した主な業務（できるだけ具体的に）
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		

発表業績（著書・論文・調査報告　等　最近のものを３件まで記入）

タイトル（書名・論文名　等）	雑誌名・刊行機関　等	発表年

外国語能力（自己評価で該当する部分に〇をつけてください）＊母語を除く

	読む	書く	聞く	話す
英　語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
日本語 (留学生のみ)	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
(　　)語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
(　　)語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可

TOEFL	点	TOEIC	点	英語検定	級
HSK		中国語検定	級	その他	

修了後の進路予定（〇をつける）

進学（他専攻・他大学院）　・　就職　・　職務を継続　・　母国へ帰国

その他（　　）

受験の際に配慮してほしいこと

修学中に考慮してほしいこと

以下は留学生のみ記入してください。

国　籍 (留学生のみ)	
パスポート番号 (留学生のみ)	有効期限：　　年　　月　　日
在留資格 (〇をつける)	留学　・　就労　・　その他（　　）

入学検定料払込証明書
貼付欄

＊郵便振替払込受付証明書またはコンビニエンスストア情報端末による検定料振込の証明書を貼付してください。

＊ネットバンキングまたはクレジットカード支払の方は下記に記入してください。

□ネットバンキング
□クレジットカード
〔支払日：____月_____日〕
〈要記入〉

＜通学・様式３＞

研　究　計　画　書　（全　試　験　共　通）

※欄は記入しない

		受験番号	※
研究科	専攻	修士 博士前期 博士後期	課程　いずれかに「○」を付ける
（フリガナ） 志願者氏名			
第１志望教員		修了後 の進路	進学・就職（　　） 希望
研究テーマ			

研究の構想・計画(2,000 字まで)

＊この紙を表紙として、Ａ４・２枚程度で作成してください
＊裏記入は不可
＊日本語または英語で記入してください

所　見　書
LETTER OF RECOMMENDATION

名古屋学院大学学長　殿
TO: The president

志願者氏名 _____
Name of the applicant

以下の項目について志願者を評価してください。
Please rate the applicant in the categories listed below.

優秀　Outstanding ― 5　　平均　Average ― 3　　不明　Unable to Make a Judgment ― 1
良　Above Average ― 4　　平均以下　Below Average ― 2

1．英語能力
English Language Ability / Chinese Language Ability (if the applicant is applying for the Chinese Department)

読む Reading _____　書く Writing _____　TOEFL Score _____
話す Speaking _____　聞く Listening _____　TOEIC Score _____

2．期限・時間を厳守する _____
Punctuality

3．独創力、先導能力 _____
Initiative

4．機知に富んでいる _____
Resourcefulness

5．計画性 _____
Planning ability

6．授業への貢献度
（業務への貢献度） _____
Contribution to classes / business

7．異なる習慣、規則、
価値観を受け入れられる _____
Respectful to different customs, rules and values

8．困難な環境を克服する能力 _____
Ability to adjust to inconvenient
or uncomfortable surrounding

9．精神的成熟度 _____
Maturity

10. 熱意・勤勉度　Motivation & Diligence _____

11. 卒業（学位取得）論文についての評価（該当者のみ）_____
Comments on the BA thesis for a degree

12. 修士論文またはそれに相当する学術論文についての評価（該当者のみ）
Comments for master's thesis or equivalent academic papers

_____

13. 推薦度　I recommend the applicant :

☆学力に関して in terms of academic ability
- ☐ 強く推薦します strongly
- ☐ 推薦します fairly
- ☐ あまり推薦しません with minor reservation
- ☐ 推薦しません I cannot recommend

☆人物に関して in terms of character
- ☐ 強く推薦します strongly
- ☐ 推薦します fairly
- ☐ あまり推薦しません with minor reservation
- ☐ 推薦しません I cannot recommend

14. その他、志願者について意見（裏面記入可）　Comments (please turn over)

記入者名 _____　日付 _____年_____月_____日
Name of recommender　Date

署　　名 _____
Signature

機関名および役職名 _____
Name of institution and title

■送付方法については、裏面参照

志願者へ

本片を所見依頼者へ渡し、必要事項を記入の上、出願期間内に大学院事務室宛に送付を依頼してください。

記入者へ

必要事項を記入後、市販の封筒に入れ、「所見書在中」と朱書して、「簡易書留」で各出願期間内（必着）に以下の宛先に郵送してください。

〒456-0062　名古屋市熱田区大宝三丁目1番17号　名古屋キャンパスひびの7階
名古屋学院大学　大学院事務室　宛

＜通学・様式5＞

本学留学生別科特別推薦入学試験推薦書

名古屋学院大学学長　　殿

下記の志願者は、推薦条件を満たし、大学院での学修にあたり学業・人物ともに良好なため、本学大学院研究科（修士課程または博士前期課程）への入学候補者と認め、推薦します。

志望研究科＿＿＿＿＿＿研究科＿＿＿＿＿＿＿＿専攻

志願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(1)志願者の研究意欲について
(2)志願者の学習状況について（学習態度、日本語能力、性格、将来性など）

年　　月　　日　　記入者　　教員名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

年　　月　　日　　推薦者　留学生別科長＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

推薦条件：以下の条件をすべて満たした者

1)本学留学生別科に1年以上在学し、本学大学院入学時までに同科を修了(見込)の者

2)本学留学生別科開講科目「日本語Ⅲ-2」を履修し、その成績がA-以上である者

　もしくは、本学留学生別科開講科目「日本語Ⅳ」または「日本語Ⅴ」を履修し、その成績がB+以上である者

＜通学・様式6＞

協定企業等特別入学試験推薦書

名古屋学院大学学長　　殿

以下の者を貴大学院経済経営研究科経営政策専攻博士前期課程への入学適格者と認め、推薦します。

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(1)志願者の研究意欲について
(2)志願者の勤務状況について（勤続年数、資格、知識、技能など）

年　　月　　日

協定企業等名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

記載者役職名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

記載者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ㊞

留学生用

費用負担説明書（修士・博士前期課程用）

氏　名

1. 2年間で必要な経費（平均）

項 目	金額（総額）	支 払 期 日	備 考
受験料	￥ 35,000	受験時	
入学金	￥ 200,000	入学手続き時	
春学期授業料（1年次）	￥ 370,000	入学手続き時	
秋学期授業料（1年次）	￥ 370,000	10月	授業料が減免されることがあります
春学期授業料（2年次）	￥ 370,000	4月	
秋学期授業料（2年次）	￥ 370,000	10月	授業料が減免されることがあります
教科書購入費	￥ 50,000	4月	
院生協議会費（毎年）	￥ 10,000		￥5,000×2回
生活費	￥ 1,800,000	毎月	1ヶ月/約 ￥75,000×24ヶ月
交通費	￥ 200,000	毎月	1ヶ月/約 ￥ 8,400×24ヶ月
資料代（修士論文作成のため）	￥ 50,000	2年次春	
合　計	**￥ 3,825,000**		

2. 資金調達計画

収 入 元	2年間の見込み金額	資金提供者の氏名・財団名・会社名等
母国の親族からの送金	￥	
在日親族からの資金援助（給与等）	￥	
奨学金	￥	
ローン	￥	
アルバイト等の収入	￥	
	￥	
合　計（￥3,825,000以上）	**￥**	

3. 日本における緊急支援先（別紙「保証書」第二保証人と同一人物でも可）

氏　名

志願者との関係

現住所　〒

電話番号

4. その他の費用負担について特に記すこと

留学生用

費用負担説明書（博士後期課程用）

氏　名

1. 3年間で必要な経費（平均）

項 目	金額（総額）	支 払 期 日	備 考
受験料	￥ 35,000	受験時	
入学金	￥ 200,000	入学手続き時	
春学期授業料（1年次）	￥ 370,000	入学手続き時	
秋学期授業料（1年次）	￥ 370,000	10月23日	授業料が減免されることがあります
春学期授業料（2年次）	￥ 370,000	4月23日	
秋学期授業料（2年次）	￥ 370,000	10月23日	授業料が減免されることがあります
春学期授業料（3年次）	￥ 370,000	4月23日	
秋学期授業料（3年次）	￥ 370,000	10月23日	授業料が減免されることがあります
教科書購入費	￥ 50,000	4月上旬	
院生協議会費（毎年）	￥ 15,000		￥5,000×3回
生活費	￥ 2,700,000	毎月	1ヶ月/約 ￥75,000×36ヶ月
交通費	￥ 302,400	毎月	1ヶ月/約 ￥ 8,400×36ヶ月
資料代等（博士論文作成のため）	￥ 150,000		
合　計	**￥ 5,672,400**		

2. 資金調達計画

収 入 元	3年間の見込み金額	資金提供者の氏名・財団名・会社名等
母国の親族からの送金	￥	
在日親族からの資金援助（給与等）	￥	
奨学金	￥	
ローン	￥	
アルバイト等の収入	￥	
	￥	
合　計（￥5,672,400以上）	**￥**	

3. 日本における緊急支援先（別紙「保証書」第二保証人と同一人物でも可）

氏　名

志願者との関係

現住所　〒

電話番号

4. その他の費用負担について特に記すこと

＜通学・様式8＞

留学生用

年　　月　　日

保　証　書

名古屋学院大学学長　　殿

志望研究科＿＿＿＿＿＿研究科＿＿＿＿＿＿＿＿専攻

志願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

以上の者の在学中は、学則を厳守せしめること、学業に専念させること、その身上および学費（標準修業年限修士2年間、博士3年間の学費の合計金額を限度）について保証人が一切の責任を引き受けることを保証します。また、帰国旅費等についても一切の責任を持ち、休学、退学、除籍の場合、修了後の進学、就職が確定しない場合には、責任を持って帰国させることを誓約します。

第一保証人（父母またはそれに準ずる方）

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞　生年月日　年　月　日（　才）

志願者との関係＿＿＿＿＿＿＿＿　年　収＿＿＿＿＿＿＿＿円

現住所　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　Tel　（　　）　　－

勤務先名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　勤務先Tel　（　　）　　－

勤務先住所　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

第二保証人（日本国内在住者）

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞　生年月日　年　月　日（　才）

志願者との関係＿＿＿＿＿＿＿＿　年　収＿＿＿＿＿＿＿＿円

現住所　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　Tel　（　　）　　－

勤務先名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　勤務先Tel　（　　）　　－

勤務先住所　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＊記入方法は裏面参照のこと

保 証 書 の 書 き 方

記入に当たっては、必ずこの「保証書の書き方」にしたがってください。
書類に不備があった場合、出願資格が認められない場合があります。保証書の記入内容および第二保証人に関する書類に間違いのないようにして下さい。

1．「黒（または青）ボールペン」を使用し、楷書で正確に記入して下さい。

2．受験生本人と第一・第二保証人は、それぞれの人が自筆で記入し、自身の印鑑を使用して下さい。印鑑のない場合は、署名をして下さい。（スタンプ印、代理記入不可）

3．第一保証人は、受験生本人の父母またはそれに準ずる方が記入して下さい。第一保証人が海外在住者で自筆記入が困難な場合は、別途ご相談下さい。

4．第二保証人は、日本国内在住者で父母またはそれに準ずる方と同等に受験生を保証できる方が記入して下さい。（第一保証人が日本国内在住者の場合は除く）

5．保証書は、出願要件となっておりますので、虚偽の記載等が発見された場合、入学を取り消されることもあります。

第二保証人に関する次の書類を保証書と一緒に提出して下さい。

- 日本人の方の場合……住民票
- 日本在住の外国籍の方の場合…外国人登録証の両面をコピーしたもの

＜通学・事前様式１＞

名古屋学院大学大学院　入学試験出願資格事前審査申請書

	申 請 日(西暦)	年　月　日	
フリガナ 氏　名	印	本籍地 （国籍）	
生年月日(西暦)	年　月　日	年　齢	満　歳
現 住 所	〒		
電話番号		FAX 番 号	
携帯電話		E-mail	
最終学歴	（　年　月卒業・修了・中退）		
現　職			
志願する 研 究 科 ・ 専 攻 （該当のものにひとつ○をつけてください。）	〔修士課程・博士前期課程〕（経済経営研究科）　経済学専攻　・　経営政策専攻 （外国語学研究科）　英語学専攻　・　国際文化協力専攻 〔博士後期課程〕（経済経営研究科）　経営政策専攻		
試験区分 （該当のものひとつにチェックしてください。）	□ 一般入試　□ 社会人特別入試　□ 本学留学生別科特別推薦入試 □ 留学生特別入試（日本国内在住者）　□ 一般・留学生特別（国内在住者）入学試験		
入試区分 （該当のものひとつにチェックしてください。）	□ 第Ⅰ期　□ 第Ⅱ期　□ 博士後期		
志願の理由 （簡潔に記述してください。）			
事前審査の 申請理由 （簡潔に記述してください。）			
志願する指導教員の氏名 （すでに連絡を取っている教員がいる場合のみ）			

（裏面へ続く）

1. 該当する事項があれば漏れなく記入してください。
2. 日付はすべて西暦で記入してください。
3. 各項目欄において記入しきれない場合は、任意の用紙（Ａ４版）に記載してください。
4. 虚偽の申請をおこなった場合、資格認定を取り消します。
5. 不明な点があれば、本学大学院事務室まで問い合せてください。

＜通学・事前様式１＞

（前面からの続き）

あなたが「大学卒業と同等以上の学力がある」と考える理由（分かりやすく具体的に記述して下さい。）

＜通学・事前様式２＞

出願資格調書（履歴書）

（　　年　　月　　日　現在）

証明写真

1. 上半身正面・脱帽・無背景のカラー写真
2. 最近３ヶ月以内撮影
3. 縦 30㎜×横 25㎜

フリガナ		本籍地（国籍）	
氏　　名	㊞	性　　別	男・女
生年月日	年　月　日（西暦で記入）	年　　齢	満　　歳
現住所	〒		
電話番号		FAX 番号	
携帯電話		E-mail	

学歴（高等学校以上を記入して下さい。ただし、日本以外の学校の通学歴がある場合は小学校から最終学校まで記入して下さい。）

期　　間（西暦）	学校名・学部・学科・課程・専攻等	修業年数
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
	※　通算の修業年数	年

職務歴（すべての職務歴を記入して下さい。なお、職務内容については具体的に記入して下さい。）

期　　間（西暦）	勤務先・所属部署・役職等	職務内容	修業年数
年　月～　年　月			年
年　月～　年　月			年
年　月～　年　月			年
年　月～　年　月			年
年　月～　年　月			年
年　月～　年　月			年
		※　通算の職務年数	年

所属学会および社会等における活動など（具体的に記入して下さい。）

所属・活動年月（西暦）	学会名または社会等における活動の内容
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	

（裏面へ続く）

＜通学・事前様式２＞

（前面からの続き）

取得した資格・免許・検定等　TOEIC・TOEFL スコアなど（正確に記入して下さい。）

取得年月（西暦）	資格等の名称・級・スコア等
年　　月	
年　　月	
年　　月	

研究業績（公表論文、著書等の実績）

公表・発行年月（西暦）	論文名・著書名	出版社・論集（紀要）名	単著・共著の別
年　　月			
年　　月			
年　　月			

研究業績（学会等における発表等の実績）

発表年月（西暦）	学　会　名	発 表 内 容
年　　月		
年　　月		
年　　月		

研究業績（受賞歴）

受賞年月（西暦）	内　容　等（具体的に記入して下さい。）
年　　月	
年　　月	
年　　月	

その他特記事項

１．本書は、日本語または英語で記入してください。
２．該当する事項があれば漏れなく記入してください。
３．日付はすべて西暦で記入してください。
４．各項目欄において記入しきれない場合は、任意の用紙（Ａ４版）に記載してください。
５．学歴は高等学校以上を記入してください。ただし、日本以外の学校への通学歴がある場合は小学校から最終学校まで漏れなく記入してください。
６．職務歴はすべての会社名・所属・役職名・職務内容を漏れなく記入してください。なお、職務内容については具体的に記入してください。
７．学歴を証明できる資料（卒業証明書、在学証明書、在籍期間証明書等）、職務歴を証明できる資料（在職証明書、雇用保険被保険者証、雇用保険被保険者資格喪失確認通知書のコピー等）を添えて提出してください。証明できる書類を添付できない場合は、任意の書式（Ａ４：１～２枚程度）にて、これまで何をどのように学んできたかを分かりやすく具体的に記述したものを作成してください。（例：社会での実務経験、大学の科目等履修生としての実績など）飛び入学による志願者は、在学中の大学の成績証明書および履修科目証明書が必要です。
８．研究業績については、志願する研究科・専攻に関係があると考える業績を有する場合に記入してください。
９．資格取得や研究業績などについてはその事実を証明できる書類・資料を各１部添付してください。
10．日本語または英語以外で記載された証明書、資料等は、すべて日本語または英語訳を添付してください。
11．本申請において、虚偽の申請（虚偽の証明書等を含む）をおこなった場合は、資格認定を取り消します。
12．その他、記入にあたって不明な点があれば、本学大学院事務室までお問い合わせください。

通信制　2024 年度　募集演習一覧（博士前期課程、博士後期課程）

【博士前期課程】

○外国語学研究科　英語学専攻

英語学論文演習	今仁　生美　教授	英語教育学論文演習	P.R.Morrow　教授
英米文学論文演習	西村　美保　教授		柳　善和　教授
			浦野　研　客員教授

【博士後期課程】

○外国語学研究科　英語学専攻

後期研究指導	西村　美保　教授	専門分野：イギリス文学
	柳　善和　教授	専門分野：英語教育学

※演習科目名および指導教員は変更となる場合があります。

■ご確認ください■

博士後期課程を志願される方は、出願前に指導を希望する教員へ研究テーマについてご相談ください。
大学院事務室より詳細をご案内いたしますので出願期間より前に余裕を持ってご連絡ください。

連絡先： 大学院事務室（TEL： 052-678-4076　　E-mail： ngugs@ngu.ac.jp ）
大学院教員紹介ページ： https://www.ngu.jp/graduate/teachers/

＝ 名古屋学院大学通信制大学院の目的 ＝

本通信制大学院は、学校教育法および教育基本法および名古屋学院大学大学院学則の定めるところにより、本学大学院の通学の課程に則して、主として通信の方法による正規の課程として開設し、既に社会で活躍する人材を主な対象として、より高度にして専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、キリスト教主義に基づいて人格を陶冶し、社会の発展に寄与することを目的としています。

※本通信制大学院は、本学大学院外国語学研究科英語学専攻の通学課程に基礎を置くものとする。

＝ 名古屋学院大学通信制大学院英語学専攻の入学受入方針 ＝

■　英語学専攻（博士前期課程）

＜求める学生像＞

通信制大学院英語学専攻博士前期課程では、以下の資質・能力のある者を受け入れる。

① 英語学（音声学、統語論、意味論）、英語教育（英語教育学、応用言語学）及び英米文学(イギリス文学、アメリカ文学、比較文学)などに関して、大学卒業レベル・一般常識レベルの幅広い学識を有する者。

② 英語で書かれた研究書や論文を十分咀嚼できる英語読解力、英語でレポートなどをまとめることのできる英語ライティング力、プレゼンテーションや日常的なコミュニケーションで支障のない英語運用力を有している者。

③ 専門領域における研究テーマを深く論理的に追求できる研究力及び個々の研究に関連する領域の広範な学識を学びたいという意欲ある者。

＜入学者選抜＞

入学希望者に対して選抜試験を行い、書類審査と面接によって英語学専攻にふさわしい人材を選抜する。

■　英語学専攻（博士後期課程）

＜求める学生像＞

通信制大学院英語学専攻博士後期課程では、以下の資質・能力のある者を受け入れる。

① 英語学（音声学、統語論、意味論）、英語教育（英語教育学、応用言語学）及び英米文学(イギリス文学、アメリカ文学、比較文学)などに関して、修士レベルの学識並びに研究遂行能力、専門的な研究の業績を有する者。

② 専門領域における研究テーマを深く追求できる者。

＜入学者選抜＞

入学希望者に対して選抜試験を行い、それぞれ書類審査、筆記試験、面接等の多角的評価によって、博士後期課程にふさわしい人材を選抜する。

【博士前期課程】　一　般　入　学　試　験（通信制大学院）

1　募集研究科・専攻　通信制大学院　外国語学研究科（英語学専攻）

2　出願資格

次のいずれかに該当する者。

1)　大学を卒業した者、または本学大学院入学時までに大学卒業見込みの者。
2)　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者。
3)　大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または本学大学院入学時までに授与見込みの者。
4)　専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または本学大学院入学時までに修了見込みの者。
5)　大学に 3 年以上在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。
6)　文部科学大臣が指定した者。
7)　本学大学院が、学歴によらず大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 22 歳に達した者。

＊ 5）の資格については、次のいずれかに該当する方が受験資格を満たします。

研究科	専攻	2 年次修了時点で卒業要件単位	「優」または「優」と同等の評価
外国語学	英語学	６５％以上修得していること	９０％以上

＊ 出願資格の 5)、7）に該当する方は、事前審査が必要となります。事前審査については「10 事前審査」（5 ページ）をご覧ください。

3　出願書類　以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	入学志願書	所定用紙＜通信・様式１＞
2	最終学歴証明書	大学の卒業（見込）証明書、大学院の修了（見込）証明書、学位授与証明書　等 発行 3 ヶ月以内のもの ＊学位授与機構に学位授与申請中の場合は、学位授与申請書のコピーを提出してください。
3	最終学歴の成績証明書	発行 3 ヶ月以内のもの
4	エントリーシート	所定用紙＜通信・様式２＞

※　注意事項

・　国内在住の外国籍の方は、以上 1）～4）に加えて在留カード・パスポート・査証（ビザ）の写しほか提出する書類がありますので、大学院事務室までお問い合わせください。
・　結婚等による氏名の変更で、証明書記載の氏名と異なる場合は、戸籍抄本（発行 3 カ月以内）を添付してください。

4　試験科目　試験科目は書類審査のほか、以下のとおりです。

専攻	試験科目	試験時間	備考
英語学	面接	20 分	

【博士後期課程】　一　般　入　学　試　験（通信制大学院）

1　募集研究科・専攻　通信制大学院　外国語学研究科（英語学専攻）

2　出願資格

次のいずれかに該当する者。

1)　修士の学位を授与された者、または大学院入学時までに授与される見込みの者。
2)　外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者、または大学院入学時までに授与される見込みの者。
3)　文部科学大臣が指定した者。
4)　本学大学院が、学歴によらず修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 24 歳に達した者。

＊ 出願資格の 4）に該当する方は、事前審査が必要となります。事前審査については、「10 事前審査」（5 ページ）をご覧ください。

3　出願書類

以下の書類を提出してください。

	書類	備考
1	入学志願書	所定用紙＜通信・様式３＞
2	最終学歴証明書	修士の学位（取得見込）証明書　発行 3 ヶ月以内のもの 本学大学院修了（見込）者は不要
3	最終学歴の成績証明書	修士課程の成績証明書　発行 3 ヶ月以内のもの 本学大学院修了（見込）者は不要
4	研究計画書	所定用紙＜通信・様式４＞
5	修士論文（コピー）	本学大学院修了（見込）者は不要
6	修士論文要旨	A4（1 ページあたり 40 字/行×35 行）で 10 枚以内、および参考文献・引用文献一覧を添付
7	発表済著書・論文等（コピー可）	最近 3 年以内のもので、公表されたものがある場合
8	英語能力を証明できる書類	証明できる書類がある場合のみ

※　注意事項

・　国内在住の外国籍の方は、以上 1）～8）に加えて在留カード・パスポート・査証（ビザ）の写しほか提出する書類がありますので、大学院事務室までお問い合わせください。
・　結婚等による氏名の変更で、証明書記載の氏名と異なる場合は、戸籍抄本（発行 3 カ月以内）を添付してください。
・　出願書類の 5)、6)が提出できない場合（例：修士論文を作成していない等）は事前に大学院事務室までお問い合わせください。

4　試験科目

試験科目は書類審査のほか、以下のとおりです。

専攻	試験科目	試験時間	備考
英語学	英語小論文	90 分	2 題出題
	面接	50 分	
	修士論文審査	—	

＜通信・様式 1＞

証明写真
1. 上半身正面・脱帽・無背景のカラー写真 2. 最近 3 ヶ月以内撮影 3. 縦 30㎜×横 25㎜

受験番号　　※

※記入しない

名古屋学院大学通信制大学院　入学志願書
博士前期課程

以下の内容について必要事項を記入してください。

志願研究科 専攻	外国語学研究科 英語学専攻　博士前期課程	入試区分 試験会場 （○をつける）	東京	大阪	名古屋

（フリガナ） 志願者氏名	姓	名	性別	男　・　女

志願者氏名 ローマ字表記	（パスポート表記と同一にすること）	生年月日	（西暦） 年　　月　　日（　　才）

志望演習名（および教員名）＊ｐ.23 参照		
第 1 志望	第 2 志望	第 3 志望

現住所	〒	
	電話番号：	携帯電話番号：
	FAX 番号：	（必須）E-mail：

連絡先（現住所以外で必ず連絡の取れる所：勤務先・携帯電話番号　等）	
連絡先名：	
電話番号：	携帯電話番号：

学修歴　（古いものより順に記入してください）

期間（西暦）	学校（高校・大学）名等	学部・研究科／専攻名等 取得学位	修学 年数	卒業（見込）・修了（見込）・ 中退・その他等
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				

・年号は全て西暦で記入してください。
・連絡用に必ずE-mail アドレスをご記入ください。
・高等学校から最終学歴までを省略しないで記入してください。
・外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、または修了見込みの者は小学校から全て省略しないで記入してください。
・学部等の研究生の場合は「学部・研究科／専攻名等」欄に研究生である旨を記入してください。

（裏面へ続く）

＜通信・様式 1＞

職務歴　（古いものより順に記入してください）

期間（西暦）	勤務先名・部署名等	担当した主な業務（できるだけ具体的に）
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		

外国語能力　（自己評価で該当する部分に〇をつけてください）＊母語を除く

言　語	読　む	書　く	聞　く	話　す
英　語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
日本語 （外国籍の方のみ）	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
（　　）語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
（　　）語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可

TOEFL（　　点）　TOEIC（　　点）　英語検定（　　級）

その他（　　）

英語教諭一種免許状の取得状況

□取得をしていない

□入学前に所要資格を得る見込み

（取得見込み年月：　　年　　月　一種免許の種別：□中学のみ　□高校のみ　□中学・高校の両方）

□取得済

（取得年月：　　年　　月　一種免許の種別：□中学のみ　□高校のみ　□中学・高校の両方）

専修免許状の取得予定（〇をつける）

※中学・高校教諭一種免許状（英語）所有者は、大学院修了後に申請により中学・高校教諭専修免許状（英語）を取得できます。

あり　　なし

修了後の進路予定（〇をつける）

進学（博士後期課程）・進学（他専攻・他大学院）・就職・職務を継続

母国へ帰国・その他（　　）

情報機器利用可能状況（〇をつける）				【備　考】
インターネット	自宅	勤務先	その他	接続先プロバイダー名 （　　）
パソコン	自宅	勤務先	その他	デスクトップ・ノート・モバイル・ その他（　　）

受験の際に配慮してほしいこと

修学中に考慮してほしいこと

入学検定料払込証明書

貼付欄

＊郵便振替払込受付証明書またはコンビニエンスストア情報端末による検定料振込の証明書を貼付してください。

＊ネットバンキングまたはクレジットカード支払の方は下記に記入してください。

□ネットバンキング

□クレジットカード

〔支払日：____月____日〕

〈要記入〉

＜通信・様式２＞

名古屋学院大学通信制大学院　英語学専攻入試　エントリーシート

志願者氏名		第１志望演習名	
１．大学院志望動機は何ですか？			
２．大学院で特に学びたい知識や技術を述べてください。			
３．英語で書かれた小説やその他の本などを読んだことがあれば、著者名、タイトルなどを書いてください。			
４．普段の生活や仕事の中でどの程度英語と関わり合いがありますか？			
５．普段の生活や仕事の中でどの程度パソコン、メール・インターネットを使っていますか？			

（裏面へ続く）

＜通信・様式２＞

６．入学後の修士論文のテーマ（あるいはどのようなことを研究したいか）を書いてください。

７．６．について、なぜこのテーマを選んだのか、研究の目的などを書いてください。

８．６．のテーマについてこれまでに読んだ本や論文などを書いてください。

９．６．のテーマについて、どのように研究を進めるつもりであるか、できるだけ詳しく書いてください。
（スペース不足の場合、追加Ａ４にて提出可）

＜通信・様式３＞

証明写真
1. 上半身正面・脱帽・無背景のカラー写真 2. 最近 3 ヶ月以内撮影 3. 縦 30mm × 横 25mm

受験番号　　※

※記入しない

名古屋学院大学通信制大学院　入学志願書
博士後期課程

以下の内容について必要事項を記入してください。

志願研究科専攻	外国語学研究科　英語学専攻　博士後期課程		
（フリガナ） 志願者氏名	姓　　名	性別	男　・　女
志願者氏名 ローマ字表記	（パスポート表記と同一にすること）	生年月日	（西暦） 年　　月　　日（　　才）

研究指導を希望する教員　＊ｐ.23 参照

第 1 志望

教授（専門分野　：　　）

現住所	〒	
	電話番号：	携帯電話番号：
	FAX 番号：	（必須）E-mail：

連絡先（現住所以外で必ず連絡の取れる所：勤務先・携帯電話番号　等）

連絡先名：

電話番号：　　携帯電話番号：

修士論文名

テーマ	
指導教員	

学籍番号：　　＊本学修士修了（見込）者は、学籍番号を記入

学修歴　（古いものより順に記入してください）

期間（西暦）	学校（高校・大学）名等	学部・研究科／専攻名等 取得学位	修学年数	卒業（見込）・修了（見込）・中退・その他等
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				
年　月 ～ 年　月				

・年号は全て西暦で記入してください。
・連絡用に必ず E-mail アドレスをご記入ください。
・高等学校から最終学歴までを省略しないで記入してください。
・外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、または修了見込みの者は小学校から全て省略しないで記入してください。
・大学院等の研究生の場合は「学部・研究科／専攻名等」欄に研究生である旨を記入してください。

（裏面へ続く）

＜通信・様式３＞

発表業績（著書・論文・調査報告等　書ききれない場合には別紙を添付してください）

タイトル（書名・論文名等）	雑誌名・刊行機関	発表年

職務歴　（古いものより順に記入してください）

期間（西暦）	勤務先名・部署名等	担当した主な業務（できるだけ具体的に）
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		
年　月 ～ 年　月		

外国語能力　（自己評価で該当する部分に〇をつけてください）＊母語を除く

言　語	読　む	書　く	聞　く	話　す
英　語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
日本語 （外国籍の方のみ）	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
（　　）語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可
（　　）語	優・良・可	優・良・可	優・良・可	優・良・可

TOEFL（　　点）　TOEIC（　　点）　英語検定（　　級）

その他（　　）

修了後の進路予定（〇をつける）

進学（他専攻・他大学院）　・　就職　・　職務を継続　・母国への帰国

その他（　　）

情報機器利用可能状況（〇をつける）				【備　考】
インターネット	自宅	勤務先	その他	接続先プロバイダー名 （　　）
パソコン	自宅	勤務先	その他	デスクトップ・ノート・モバイル・ その他（　　）

受験の際に配慮してほしいこと

修学中に考慮してほしいこと

入学検定料払込証明書
貼付欄

＊郵便振替払込受付証明書またはコンビニエンスストア情報端末による検定料振込の証明書を貼付してください。

＊ネットバンキングまたはクレジットカード支払の方は下記に記入してください。

□ネットバンキング
□クレジットカード
〔支払日：____月____日〕
（要記入）

＜通信・様式４＞

研　究　計　画　書

※欄は記入しない

受験番号	※

通信制大学院　　外国語研究学科　　英語学専攻　　博士後期課程			
（フリガナ） 志願者氏名			
第１志望教員		修了後 の進路	
研究テーマ	（研究テーマについては事前に第１志望教員までご相談ください）		

研究の構想・計画(2,000 字まで)

＊この紙を表紙として、Ａ４・２枚程度で作成してください
＊裏記入は不可
＊日本語または英語で記入してください

＜通信・事前様式１＞

名古屋学院大学通信制大学院　入学試験出願資格事前審査申請書

		申請日(西暦)	年　月　日
フリガナ		本籍地（国籍）	
氏　名	㊞		
生年月日(西暦)		年　齢	満　歳
現 住 所	〒		
電話番号		FAX 番号	
携帯電話		E-mail	
最終学歴	（　年　月卒業・修了・中退）		
現　職			
志願する課程	英語学専攻（通信教育課程） ☐ 博士前期課程　☐ 博士後期課程　※該当する方にチェックを入れてください。		
入試区分 試験会場	※博士前期課程を選択した方のみ該当するものにチェックを入れてください。 ☐ 東京　☐ 大阪　☐ 名古屋		
志願の理由 ※簡潔に記述してください。			
事前審査の申請理由 ※簡潔に記述してください。			
志願する指導教員の氏名 （すでに連絡を取っている教員がいる場合のみ）			

1. 該当する事項は漏れなく記入してください。
2. 連絡用に必ずE-mailアドレスをご記入ください。
3. 日付はすべて西暦で記入してください。
4. 各項目欄において記入しきれない場合は、任意の用紙（Ａ４版）に記載してください。
5. 虚偽の申請をおこなった場合、資格認定を取り消します。
6. 不明な点があれば、本学大学院事務室まで問い合せてください。

（裏面へ続く）

＜通信・事前様式１＞

あなたが「学士（修士）の学位を有する者と同等以上の学力がある」と考える理由 ※分かりやすく具体的に記述してください。

＜通信・事前様式２＞

出願資格調書（履歴書）

（　　年　　月　　日　現在）

証明写真

1. 上半身正面・脱帽・無背景のカラー写真
2. 最近３ヶ月以内撮影
3. 縦 30㎜×横 25㎜

フリガナ		本籍地（国籍）	
氏　　名	㊞	性　　別	男・女
生年月日	年　月　日（西暦で記入）	年　　齢	満　　歳
現住所	〒		
電話番号		FAX 番号	
携帯電話		E-mail	

学歴（高等学校以上を記入してください。ただし、日本以外の学校の通学歴がある場合は小学校から最終学校まで記入してください。）

期　　間（西暦）	学校名・学部・学科・課程・専攻等（修了形態に○して下さい。）	修業年数
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
年　月～　年　月	（卒業・修了・中退）	年
	※　通算の修業年数	年

職務歴（すべての職務歴を記入してください。なお、職務内容については具体的に記入してください。）

期　　間（西暦）	勤務先・所属部署・役職等	職務内容	修業年数
年　月～　年　月			年
年　月～　年　月			年
年　月～　年　月			年
年　月～　年　月			年
年　月～　年　月			年
年　月～　年　月			年
		※　通算の職務年数	年

所属学会および社会等における活動など（具体的に記入してください。）

所属・活動年月（西暦）	学会名または社会等における活動の内容
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	

（裏面へ続く）

＜通信・事前様式２＞

取得した資格・免許・検定等　TOEIC・TOEFL スコア等（正確に記入してください。）

取得年月（西暦）	資格等の名称・級・スコア等
年　　月	
年　　月	
年　　月	

研究業績（公表論文、著書等の実績）

公表・発行年月（西暦）	論文名・著書名	出版社・論集（紀要）名	単著・共著の別
年　　月			
年　　月			
年　　月			

研究業績（学会等における発表等の実績）

発表年月（西暦）	学　会　名	発 表 内 容
年　　月		
年　　月		
年　　月		

研究業績（受賞歴）

受賞年月（西暦）	内　容　等（具体的に記入してください。）
年　　月	
年　　月	
年　　月	

その他特記事項

１．本書は、日本語または英語で記入してください。
２．該当する事項には漏れなく記入してください。連絡用にE-mailアドレスを必ずご記入ください。
３．日付はすべて西暦で記入してください。
４．各項目欄において記入しきれない場合は、任意の用紙（Ａ４版）に記載してください。
５．学歴は高等学校以上を記入してください。ただし、日本以外の学校への通学歴がある場合は小学校から最終学校まで漏れなく記入してください。
６．職務歴はすべての会社名・所属・役職名・職務内容を漏れなく記入してください。なお、職務内容については具体的に記入してください。
７．学歴を証明できる資料（卒業証明書、在学証明書、在籍期間証明書等）、職務歴を証明できる資料（在職証明書、雇用保険被保険者証、雇用保険被保険者資格喪失確認通知書のコピー等）を添えて提出してください。
飛び入学による志願者は、在学中の大学の成績証明書および履修科目証明書が必要です。
８．研究業績については、志願する研究科・専攻に関係があると考える業績を有する場合に記入してください。
９．資格取得や研究業績等についてはその事実を証明できる書類・資料を各１部添付してください。
10．日本語または英語以外で記載された証明書、資料等は、すべて日本語または英語訳を添付してください。
11．本申請において、虚偽の申請（虚偽の証明書等を含む）をおこなった場合は、資格認定を取り消します。
12．その他、記入にあたって不明な点があれば、本学大学院事務室まで問合せてください。

入学検定料支払いの利用手順

1 名古屋学院大学大学院のWebサイトにアクセス

http://www.ngu.jp/faculty/graduate/

検定料支払いのバナーをクリック

2 大学院を選択・受験者情報の入力

画面に従って必要な情報を入力してください。

3 支払い方法の選択

下記より支払い方法を選択してください。

支払い可能な取扱い機関

■コンビニエンスストア
セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、
ミニストップ、デイリーヤマザキ、
ヤマザキデイリーストア、セイコーマート、
スリーエフ

■ATM（Pay-easy 利用可能なATM）
ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、
みずほ銀行、りそな銀行など

■クレジットカード
VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club

■ネットバンキング
楽天銀行、じぶん銀行、住信SBIネット銀行、
ジャパンネット銀行、その他 都市銀行、地方銀行、
労働金庫、信用金庫、信用組合など

4 検定料の支払い

登録完了画面に支払い時に必要になる番号が表示されます。
番号を間違いなくメモまたは印刷し、選択した支払い機関で検定料を支払ってください。
支払いについての手順は次ページの「検定料の支払い方法」をご確認ください。

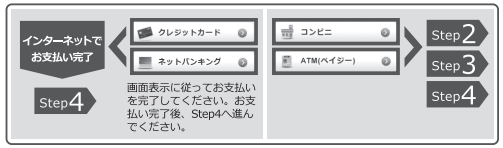
5 必要書類を大学院へ郵送

必要書類を準備し大学院へ郵送してください。
詳細は入試要項等をご確認ください。

出願完了

検定料の支払い方法

Step1 検定料の支払い方法を選択します。



登録完了画面、または申込確認画面より決済代行業者の専用サイトへ移動し、支払い方法を選択します。

- クレジットカード
  VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club
- ネットバンキング
  主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。
  ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

Step2 お支払い情報を確認します。

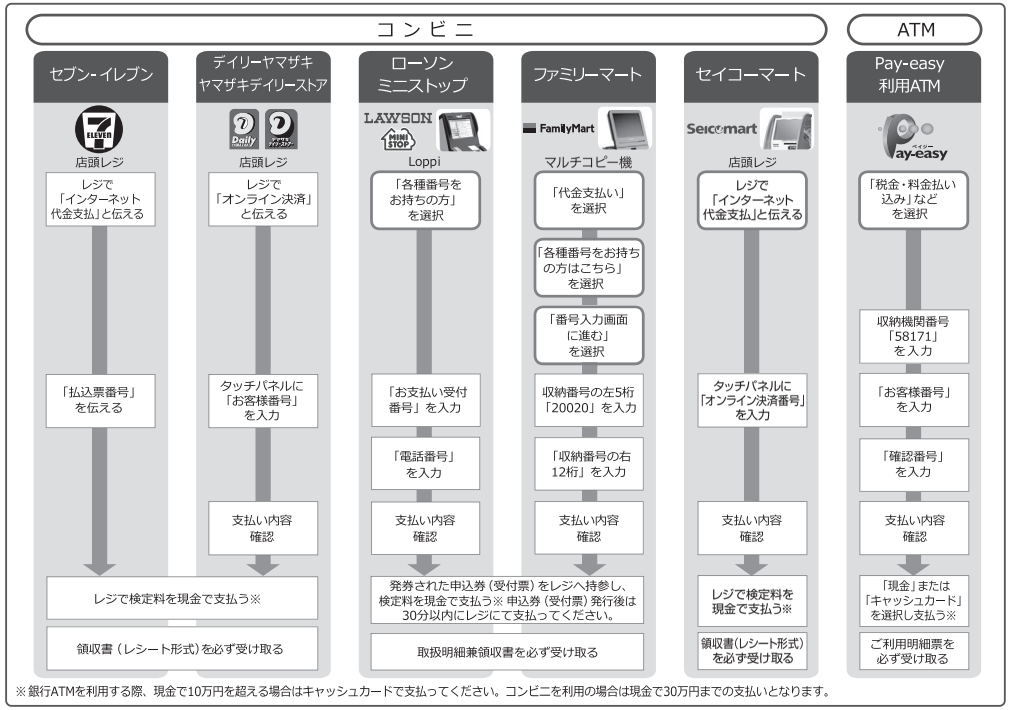
コンビニ・銀行ATMでのお支払いに必要なお支払い情報を取得します。
お支払い情報は、お支払いをする際に必要な情報ですので、必ずメモを取るか印刷してください。

- コンビニ
  コンビニ名を選択した後、お支払い情報取得ボタンを押してください。

- ATM（ペイジー）
  画面表示に従い、お支払い情報取得ボタンを押してください。

Step3 選択した支払い方法で検定料を支払います。

Step2で取得したお支払い情報を持参し、コンビニ（レジ、設置端末）・銀行ATMにて検定料を支払います。領収書は必ず受け取ってください。



※銀行ATMを利用する際、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

Step4 必要書類を大学へ郵送し、出願を完了させます。

必要書類を準備し大学へ郵送し、出願を完了させてください。
詳細はガイダンスや募集要項等をご確認ください。

支払手数料について
※検定料のほかに、支払手数料が必要です。登録時にご確認ください。
※複数回登録する場合、支払手数料がそれぞれ必要となります。

検定料支払いに関するお問い合わせ先
名古屋学院大学 大学院事務室 **052-678-4076**【受付時間】10：30～18：15（土・日・祝除く平日）
※左記の受付時間以外は電話受付をしておりません。

名古屋学院大学大学院　交通案内図

2024年度入学試験および説明会会場（名古屋会場）

■名古屋学院大学大学院 名古屋キャンパスひびの
名古屋市熱田区大宝三丁目1番17号
TEL 052-678-4076 FAX 052-682-6869

地下鉄「日比野」駅 5番出口すぐ

2023年度　説明会日程

	日程	時間	専攻	場所
経済経営研究科	2023年 9月 2日(土)	10:30～12:00 ※1 13:30～15:00 ※2	経済学／経営政策	名古屋キャンパスひびの
	2023年12月 9日(土)			

※1 税理士試験の科目免除を目指す方向けの説明会です。（事前予約は不要となります）
※2 税理士試験の科目免除を目指す方以外の説明会は事前予約が必要となります。2日前までにご連絡ください。

	日程	時間	専攻	場所
外国語学研究科	2023年 9月 2日(土)	11:00～12:30 ※3	英語学／国際文化協力	名古屋キャンパスひびの
	2023年12月 9日(土)			

※3 説明会は事前予約が必要となります。2日前までにご連絡ください。

	日程	時間	専攻	場所
通信制大学院	2023年 9月 2日(土)	13:30～15:00 ※4 15:30～17:00 ※4	英語学（博士前期） 英語学（博士後期）	名古屋キャンパスひびの
	2023年12月 9日(土)			
	2024年 1月27日(土)	11:00～16:00 ※5	英語学（博士前期･後期）	東京（新宿エルタワー）
	2024年 2月 4日(日)	11:00～16:00 ※5	英語学（博士前期･後期）	大阪（梅田スカイビルタワーウエスト）

※4 説明会は事前予約が必要となります。2日前までにご連絡ください。
※5 （公財）私立大学通信教育協会主催となります。

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY 60TH

お問い合わせ先
名古屋学院大学大学院事務室
〒456-0062 愛知県名古屋市熱田区大宝3-1-17
名古屋キャンパスひびの7階
TEL：052-678-4076　MAIL：ngugs@ngu.ac.jp

名古屋学院大学大学院